

3. 居住・商業・業務環境等の状況

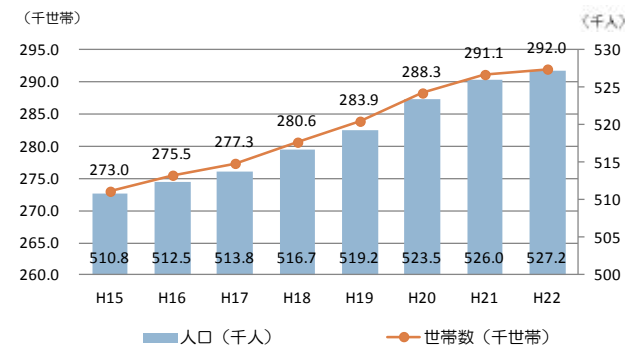
(1) 住民特性

① 人口・世帯数

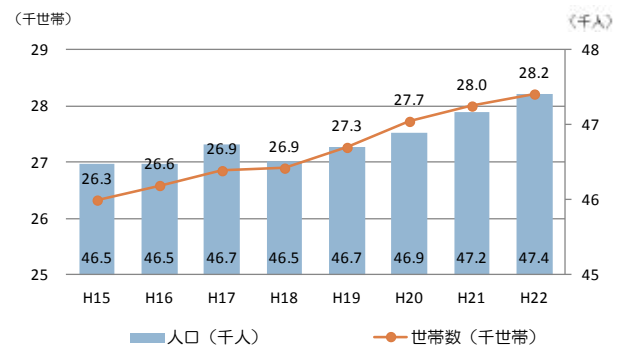
- ・杉並区内及び対象地区における人口、世帯数は現在は増加傾向にあるが、将来人口推計（第2回杉並区基本構想審議会資料「変わりゆく東京と杉並」参照）では平成32年以降微減すると予測されている。
- ・対象地区の人口増加率は平成18年に一時的に減少したものの、現在は杉並区の人口増加率を上回っている。
- ・杉並区に対する対象地区の人口の割合は約9.0%、世帯数は約9.7%で、ほぼ横ばいとなっている。

【人口・世帯数の推移】

◇杉並区



◇対象地区



【人口の推移】

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
杉並区	人口	510,796	512,470	513,784	516,705	519,229	523,470	526,044	527,158
	対前年増加率	-	0.3%	0.3%	0.6%	0.5%	0.8%	0.5%	0.2%
対象地区	人口	46,484	46,471	46,742	46,518	46,695	46,893	47,175	47,416
	対前年増加率	-	0.0%	0.6%	-0.5%	0.4%	0.4%	0.6%	0.5%
杉並区に対する対象地区の人口の割合		9.1%	9.1%	9.1%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%

【世帯数の推移】

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
杉並区	世帯数	273,016	275,508	277,349	280,639	283,895	288,277	291,149	291,990
	対前年増加率	-	0.9%	0.7%	1.2%	1.2%	1.5%	1.0%	0.3%
対象地区	世帯数	26,331	26,590	26,853	26,898	27,266	27,728	28,000	28,213
	対前年増加率	-	1.0%	1.0%	0.2%	1.4%	1.7%	1.0%	0.8%
杉並区に対する対象地区の世帯数の割合		9.6%	9.7%	9.7%	9.6%	9.6%	9.6%	9.6%	9.7%

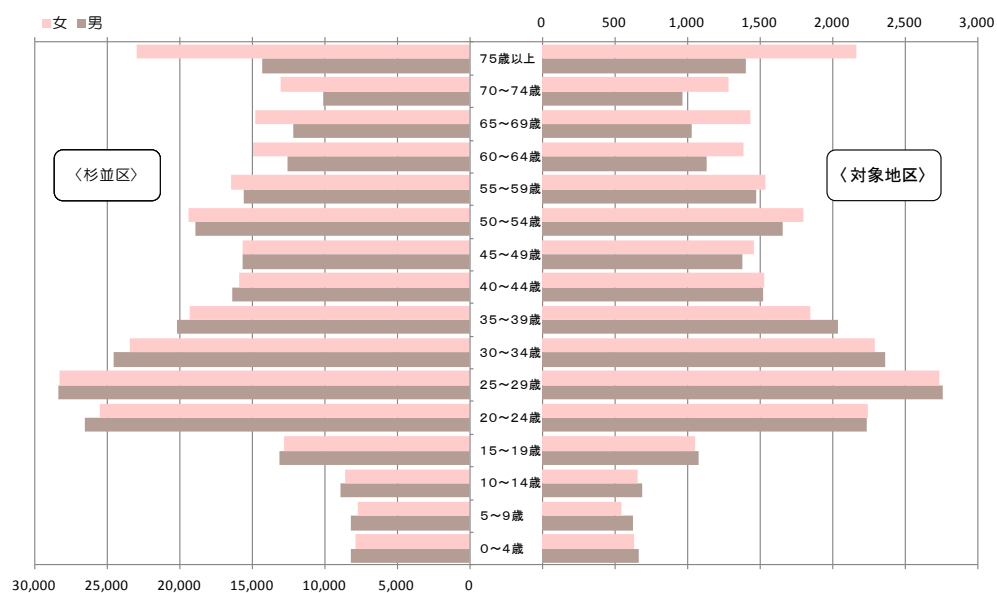
※平成22年版杉並区統計書より作成

② 年齢構成

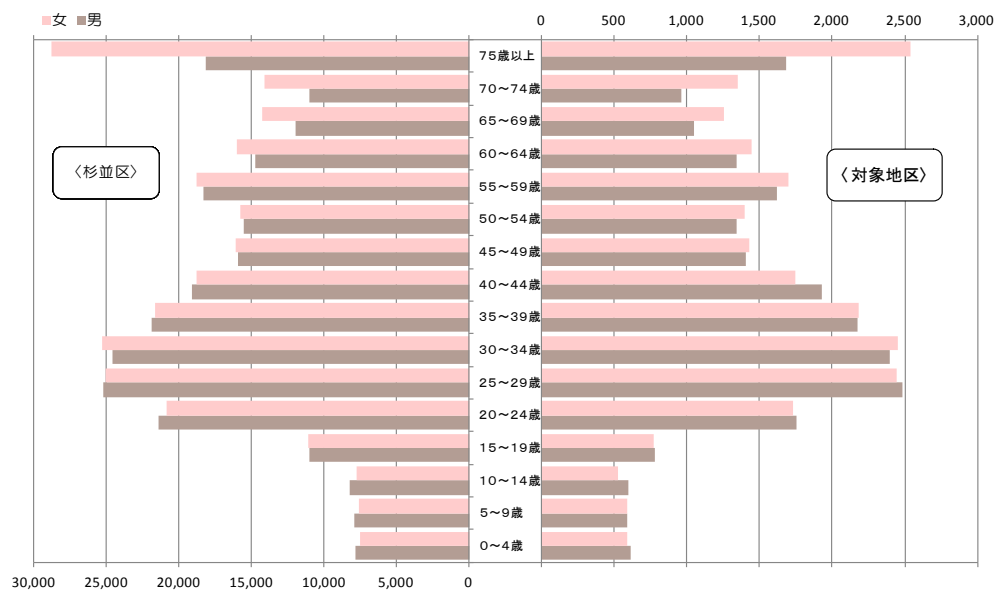
- ・ 杉並区の平均年齢は 43.3 歳（平成 17 年国勢調査より）で、年代別人口をみると、杉並区と対象地区はともに 30 代までのファミリー層が最も多く、次に 50 代の中高年層が多くなっている。
- ・ 平成 12 年と平成 17 年の状況を比較すると、ファミリー層が若干減少し、75 歳以上の高齢者層が増加している。

【杉並区と対象地区の人口ピラミッド】

◇平成 12 年



◇平成 17 年

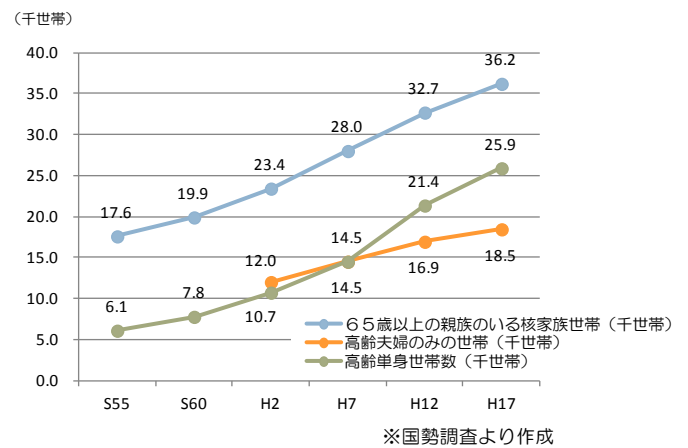
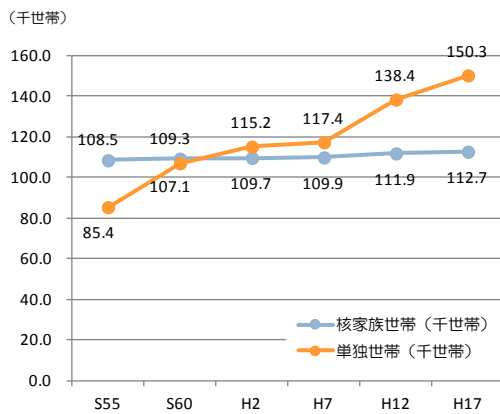


※平成 12 年、平成 17 年国勢調査より作成

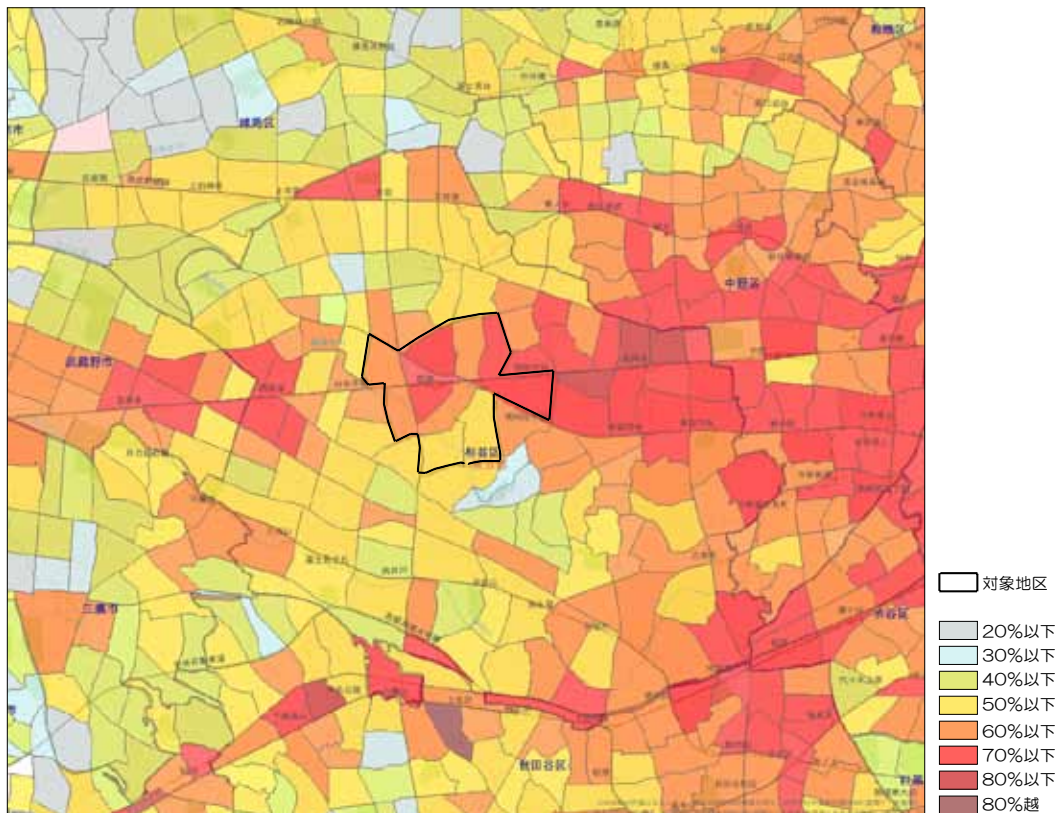
③ 世帯構成

- ・ 杉並区の世帯構成は、単独世帯の増加傾向が顕著となっており、そのうち高齢単身世帯（65歳以上）は、昭和55年から平成17年までに4倍以上に増加している。
- ・ 対象地区においても単独世帯が多く、荻窪駅に近い地区程その傾向が強くなっている。荻窪駅から少し離れた位置にある荻窪二～三丁目は、夫婦のみの世帯やファミリー世帯の割合が比較的多くなっている。
- ・ また、単独世帯は都心に近いほど多く、杉並区内では高円寺駅、阿佐ヶ谷駅周辺に集中している。

【杉並区の世帯構成別の推移】



【単独世帯の割合】※町丁目別

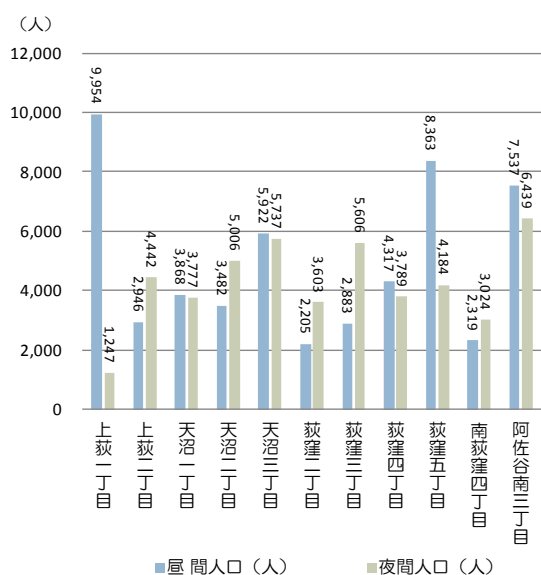


※平成17年国勢調査より作成

④ 昼夜間人口

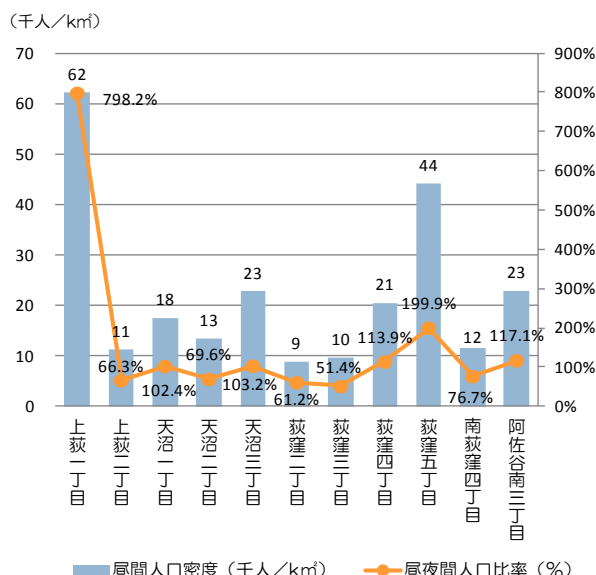
- ・ 荻窪駅に隣接する上荻一丁目と荻窪五丁目は昼間人口密度が高く、昼夜間人口の差も大きい。特に上荻一丁目は昼夜間人口比率が約800%と群を抜いて高く、商業・業務機能が中心の地区となっている。
- ・ その他の地区は、昼夜間人口がほぼ同じか、夜間人口が昼間人口を上回っており、特に荻窪二～三丁目は夜間人口の比率が高い。
- ・ 杉並区からの主な通勤・通学先は新宿区、千代田区、港区の順で多くなっている。
- ・ また通勤者比率は、他市区町村への通勤者比率が他市区町村からの通勤者比率を大幅に上回っており、経年変化はほぼ横ばいとなっている。

【昼夜間人口】



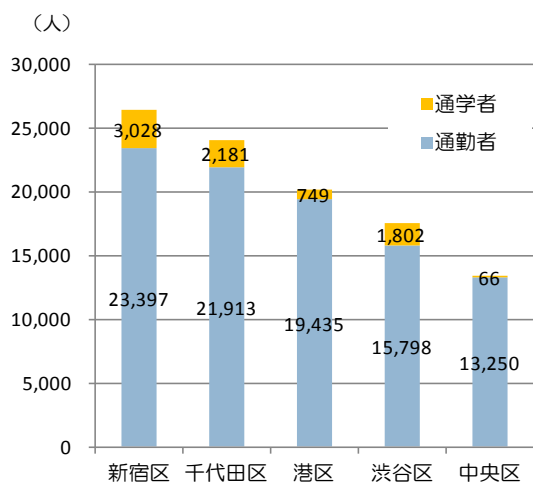
※平成17年国勢調査より作成

【昼夜間人口密度と人口比率】



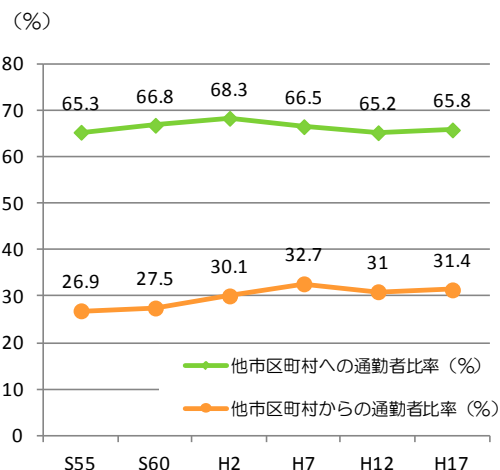
※平成17年国勢調査より作成

【杉並区の従業地・通学地別の通勤者数及び通学者数】※上位5地区



※平成22年版杉並区統計書より作成

【杉並区の通勤者比率の推移】



※国勢調査より作成

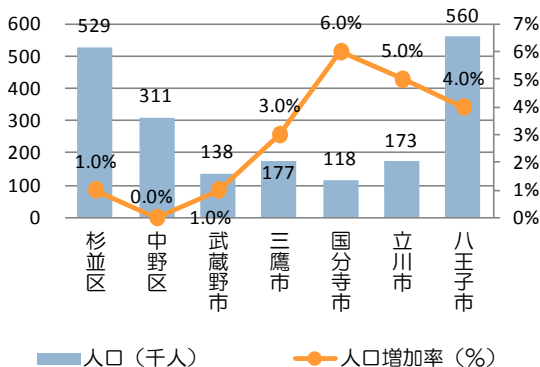
⑤ JR 中央線沿線他都市との比較

- ・ 杉並区の人口は、中央線沿線の中でも八王子市に次いで多いが、人口増加率は、国分寺市を頂点として都心に近付くほど減少しており、杉並区は微増（1.0%増）に留まっている。
- ・ 各都市の主要駅周辺（500 m圏内）の人口は、荻窪駅が最も多く（47,605 人）、中核駅としてのポテンシャルの高さが伺えるが、人口増加率は市部の駅周辺が増加しているのに対し、荻窪駅周辺は僅かに減少している。
- ・ 杉並区の人口密度は中野区や武蔵野市よりも低く、人口規模に比べて人口密度は低い。
- ・ 駅周辺の人口密度をみると、駅前に大規模商業施設等が集積している立川駅や吉祥寺駅は、市区全体よりも駅周辺の人口密度が低くなっているが、荻窪駅をはじめとするその他の駅は、駅周辺の人口密度が高くなっている。

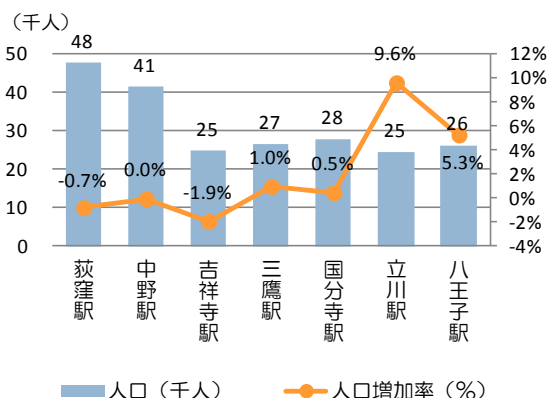
【人口】

※平成 17 年国勢調査より作成

◇市区 (千人)



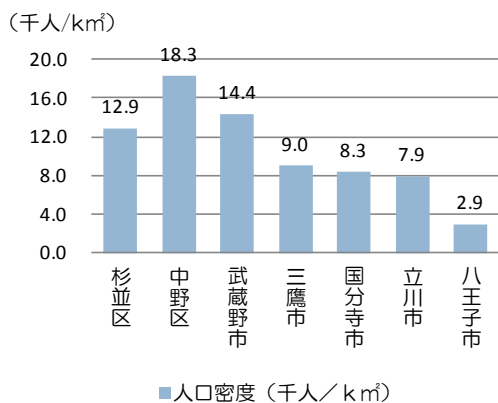
◇各都市の主要駅 500 m 圏内



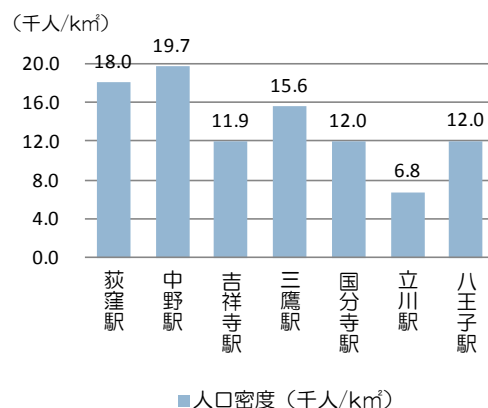
【人口密度】

※平成 17 年国勢調査より作成

◇市区



◇各都市の主要駅 500 m 圏内

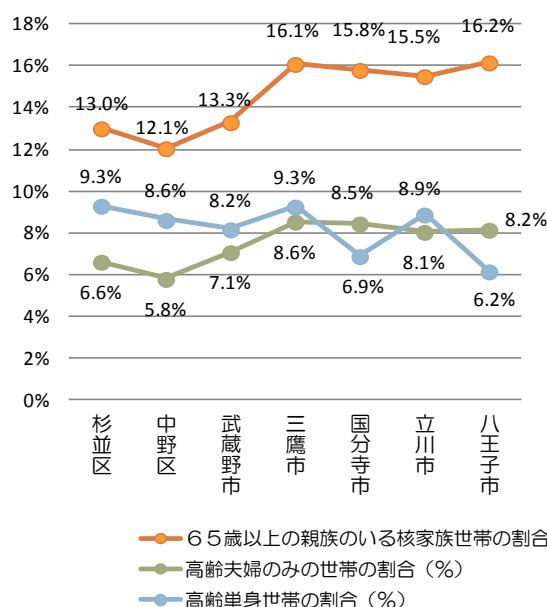
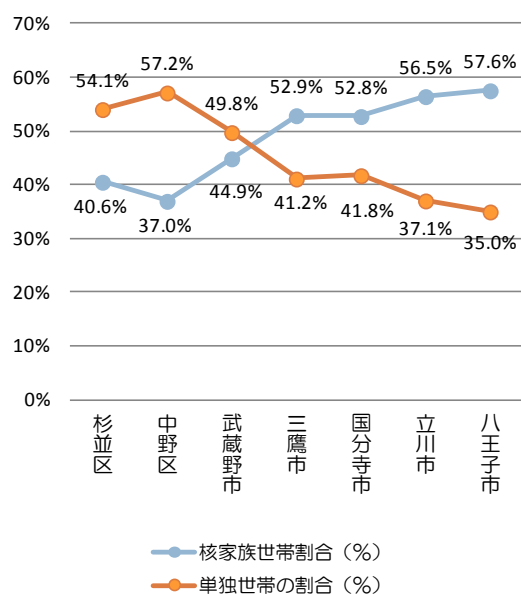


※各都市の主要駅 500 m 圏内の数値は、各駅を中心とした 500 m 圏内にある町丁目の合計値
※人口増加率は平成 12 年調査に対する平成 17 年調査の割合

- ・世帯構成は、都心に近いほど単身世帯の割合が高く、区部と市部の差が顕著になっており、杉並区（54.1%）は中野区に続いて高い割合を示している。このうち高齢単身世帯の割合は、杉並区（9.3%）と三鷹市（9.3%）が最も高くなっている。
- ・昼夜間人口比率は、武蔵野市と立川市が高く、都心部へのアクセスが可能な鉄道路線が複数乗り入れている吉祥寺駅及び立川駅周辺の中枢性の高さが伺える。

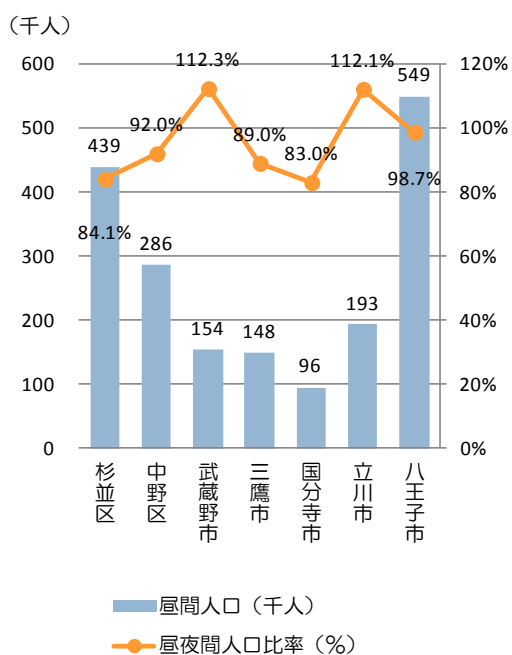
【世帯構成】

※平成 17 年国勢調査より作成



【昼夜間人口】

※平成 17 年国勢調査より作成

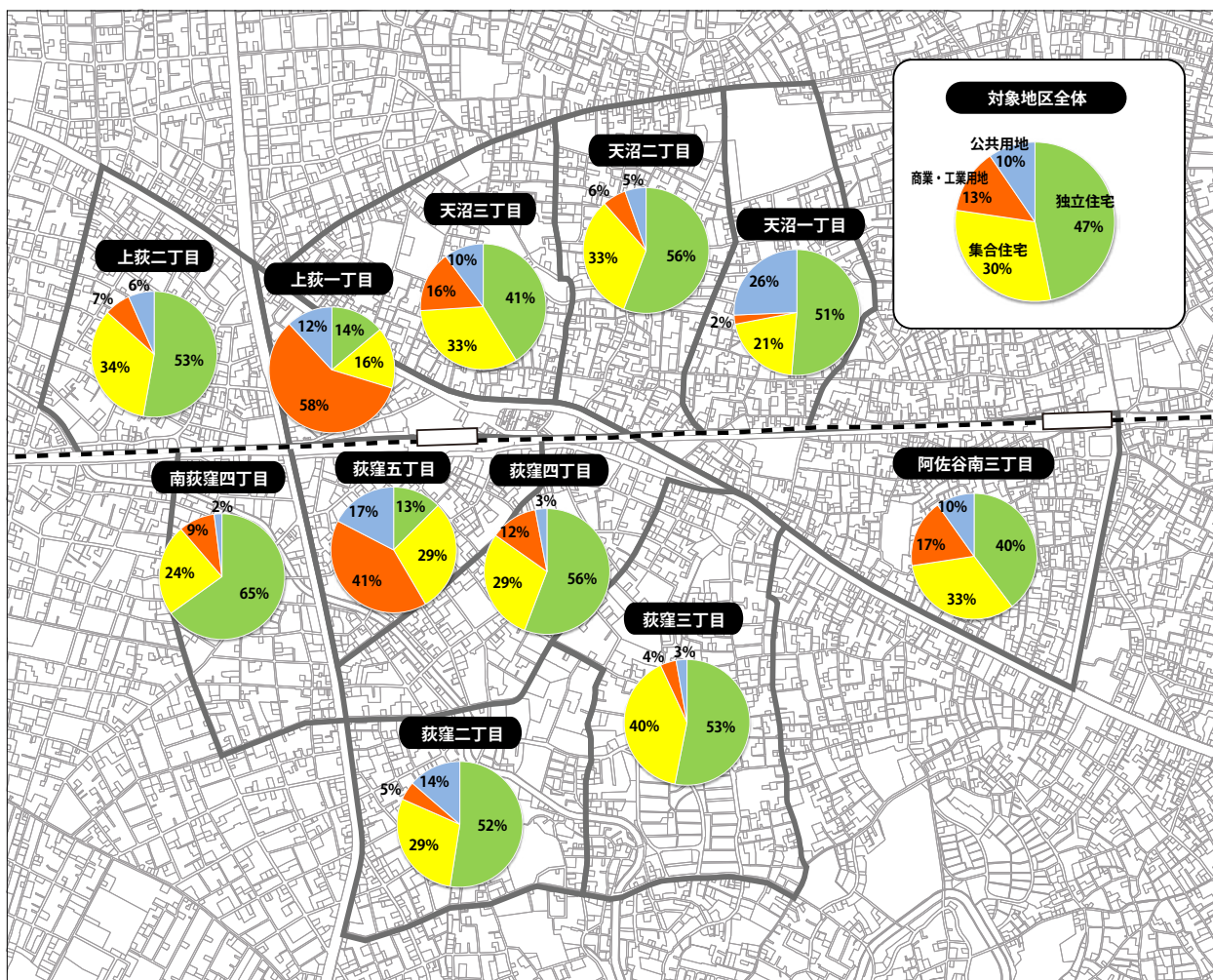


(2) 土地・建物

① 土地・建物利用

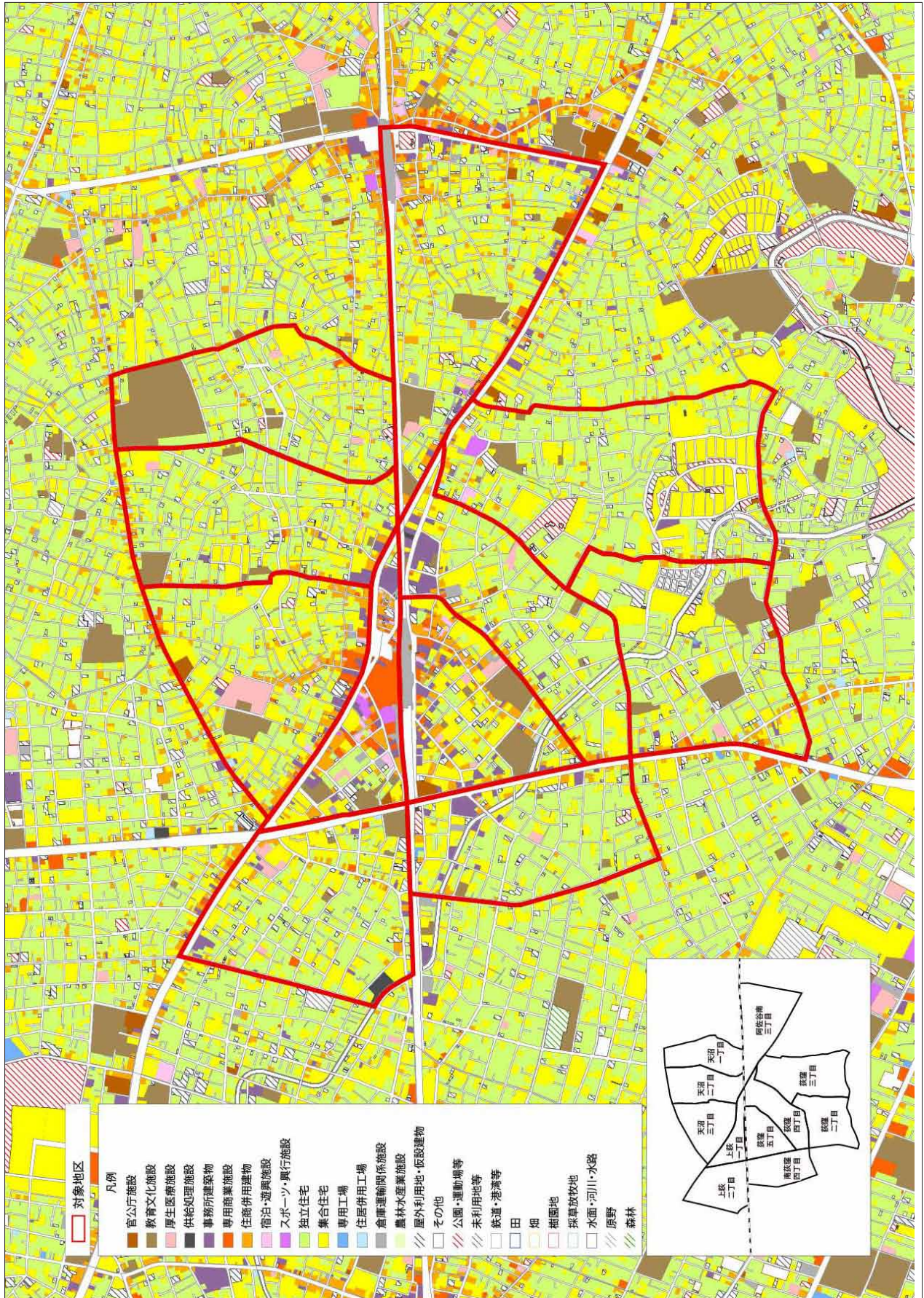
- ・対象地区全体の宅地率は約8割で、宅地のうち約半数を独立住宅が占めており（47%）、集合住宅（30%）と合わせると、宅地の約8割（77%）が住宅系用途となっている。
- ・町丁目別の土地利用をみると、荻窪駅北口に位置する上荻一丁目は半数以上（58%）が商業系用途で、南口に位置する荻窪五丁目は商業系用途（41%）と集合住宅（29%）の混在する地区となっている。

【町丁目別の宅地の内訳】



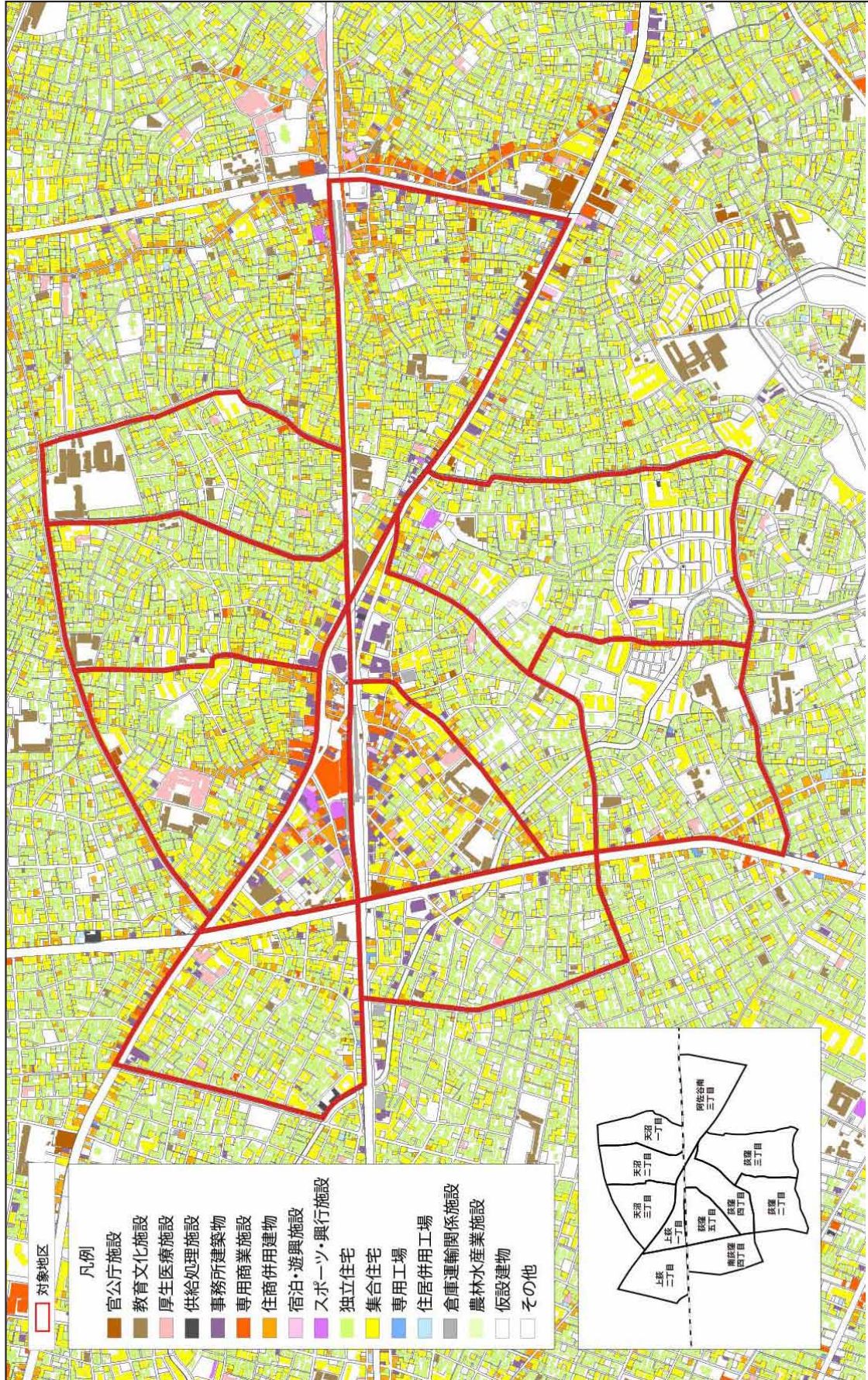
※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

【土地利用】



※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

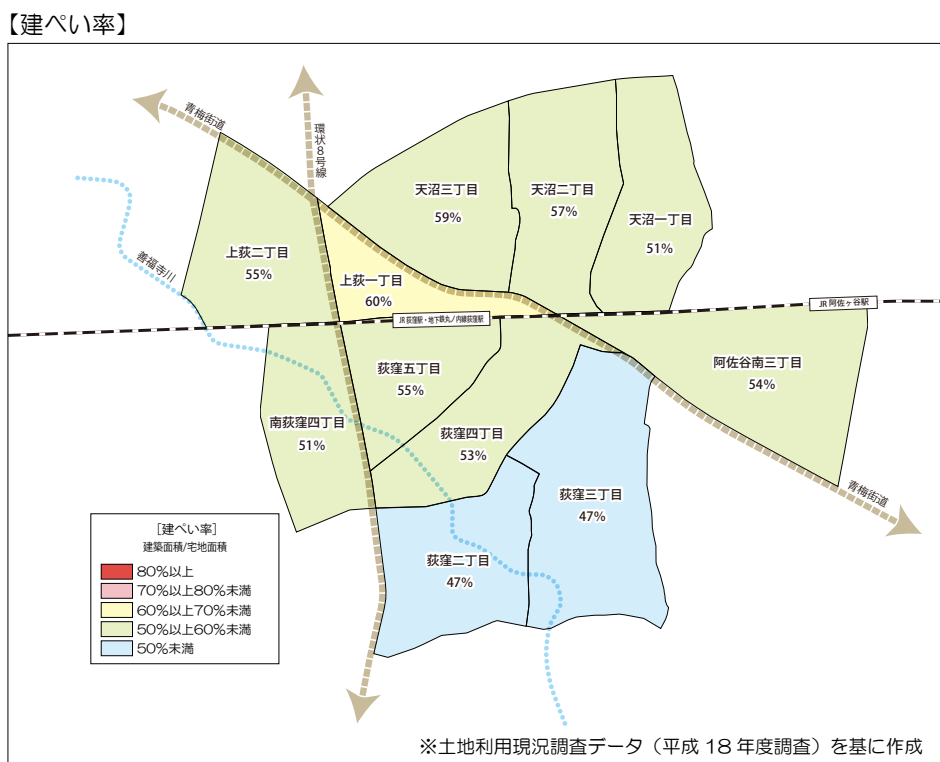
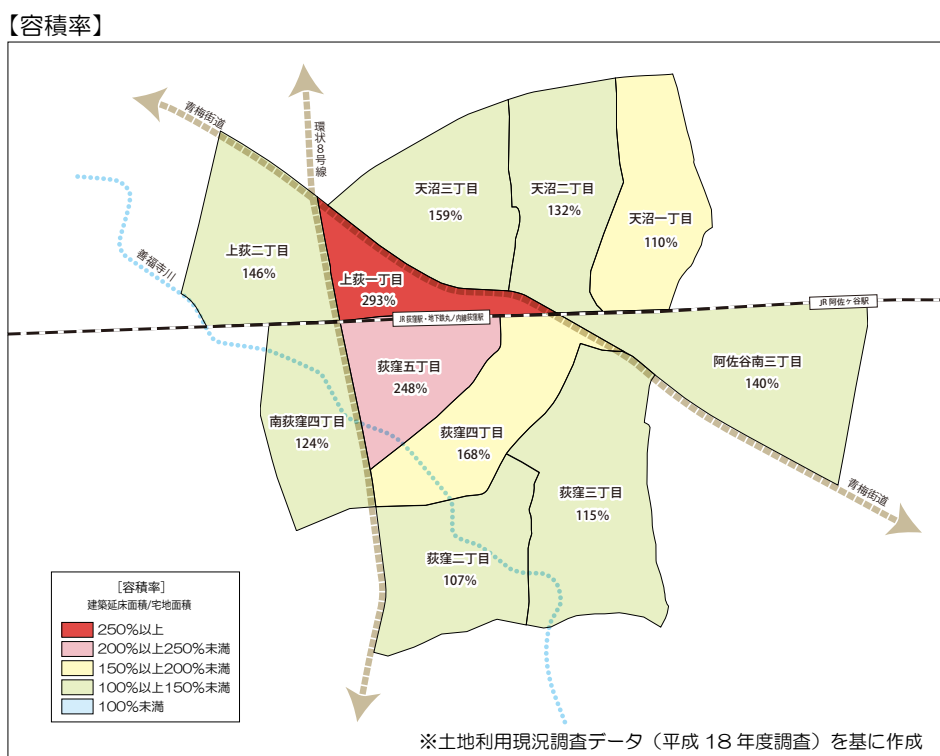
[建物利用]



※土地利用現況調査データ（平成 18 年度調査）を基に作成

② 使用容積率・建ぺい率

- ・容積率は駅に隣接している地区が 200～300%、その他の地区は 200%未満となっており、建ぺい率は、上荻一丁目の 60%が最も高く、比較的敷地規模の大きい戸建て住宅が中心の荻窪二、三丁目は 50%以下となっている。



③ 宅地面積

- ・公共用地（公官庁施設、教育文化施設、厚生医療施設、供給処理施設）を除く町丁目別の平均宅地面積は、天沼地区と阿佐谷南地区が比較的小さく、駅に接する地区や荻窪地区は比較的ゆとりのある宅地となっている。
- ・個別の宅地面積の状況をみると、小規模な宅地は青梅街道沿道や商店街を中心に分布しており、1,000㎡以上の宅地は荻窪二、三丁目に集合住宅や戸建て住宅として分布している。
- ・独立住宅の宅地面積は、青梅街道の北側の地区及び上荻二丁目が100～150㎡、青梅街道の南側の地区及び上荻一丁目が150～200㎡程度となっている。
- ・公共用地を除く棟数密度は、青梅街道の北側の地区及び上荻二丁目が1haあたり約100棟と非常に密度が高くなっている。

【町丁目別の宅地面積、建物棟数、平均宅地面積】

◇全宅地及び公共用地以外の宅地

	宅地面積 (㎡)		建物棟数 (棟)		平均宅地面積 (㎡)	
	全宅地	公共用地 以外の宅地	全宅地	公共用地 以外の宅地	全宅地	公共用地 以外の宅地
上荻一丁目	84,212.7	75,415.1	295	280	285.5	269.3
上荻二丁目	177,607.2	165,771.8	985	971	180.3	170.7
天沼一丁目	185,486.8	137,865.0	1,109	1,087	167.3	126.8
天沼二丁目	201,675.3	190,729.7	1,213	1,192	166.3	160.0
天沼三丁目	217,261.3	195,097.0	1,281	1,258	169.6	155.1
荻窪二丁目	186,048.4	160,708.8	781	759	238.2	211.7
荻窪三丁目	262,621.3	255,282.5	1,142	1,130	230.0	225.9
荻窪四丁目	163,664.6	158,757.7	709	697	230.8	227.8
荻窪五丁目	143,775.0	118,756.6	443	425	324.5	279.4
南荻窪四丁目	144,436.7	141,557.5	640	632	225.7	224.0
阿佐谷南三丁目	278,254.0	250,893.5	1,670	1,647	166.6	152.3
合計	2045043.4	1,219,293.0	10,268	10,078	199.2	183.7

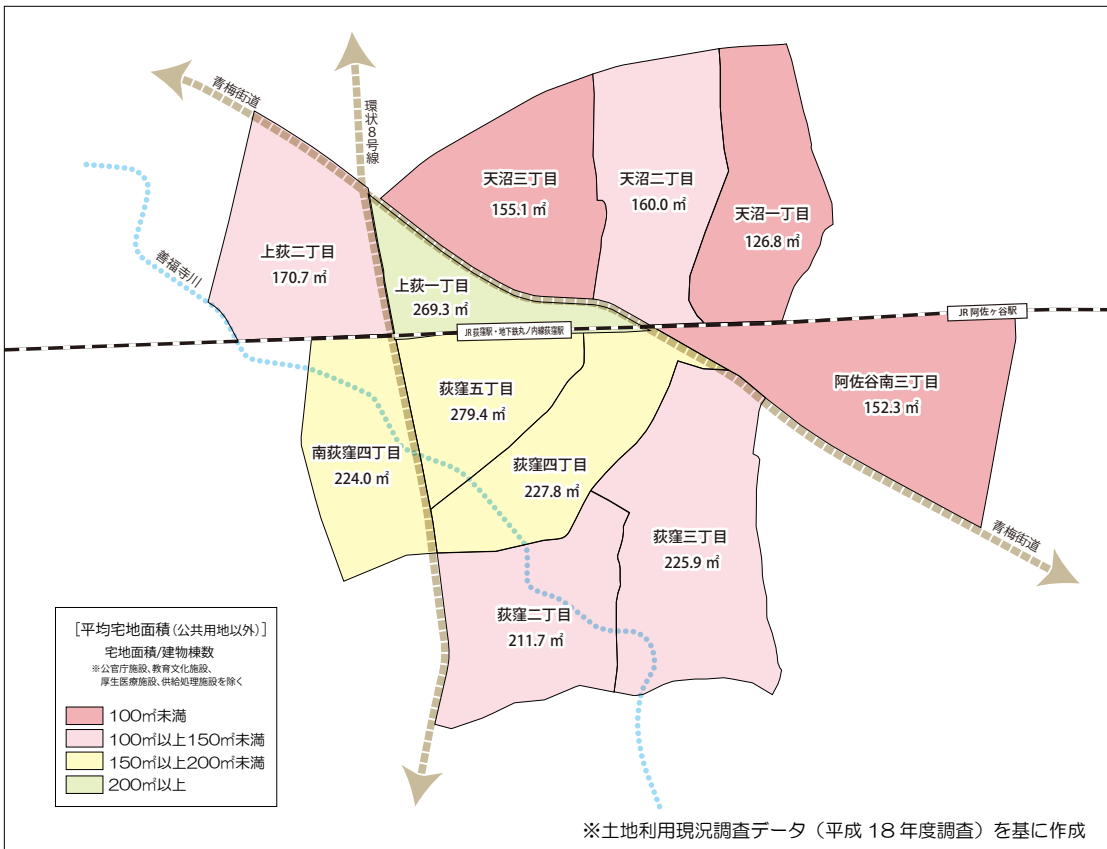
◇独立住宅

	宅地面積 (㎡)	建物棟数 (棟)	平均宅地面積 (㎡)
上荻一丁目	10,268.4	53	193.7
上荻二丁目	93,775.7	633	148.1
天沼一丁目	95,195.7	785	121.3
天沼二丁目	112,508.2	806	139.6
天沼三丁目	89,588.2	709	126.4
荻窪二丁目	97,602.3	546	178.8
荻窪三丁目	139,456.8	844	165.2
荻窪四丁目	91,311.2	452	202.0
荻窪五丁目	17,951.5	108	166.2
南荻窪四丁目	93,998.1	472	199.1
阿佐谷南三丁目	110,515.7	862	128.2
合計	952,171.9	6270	1,768.7

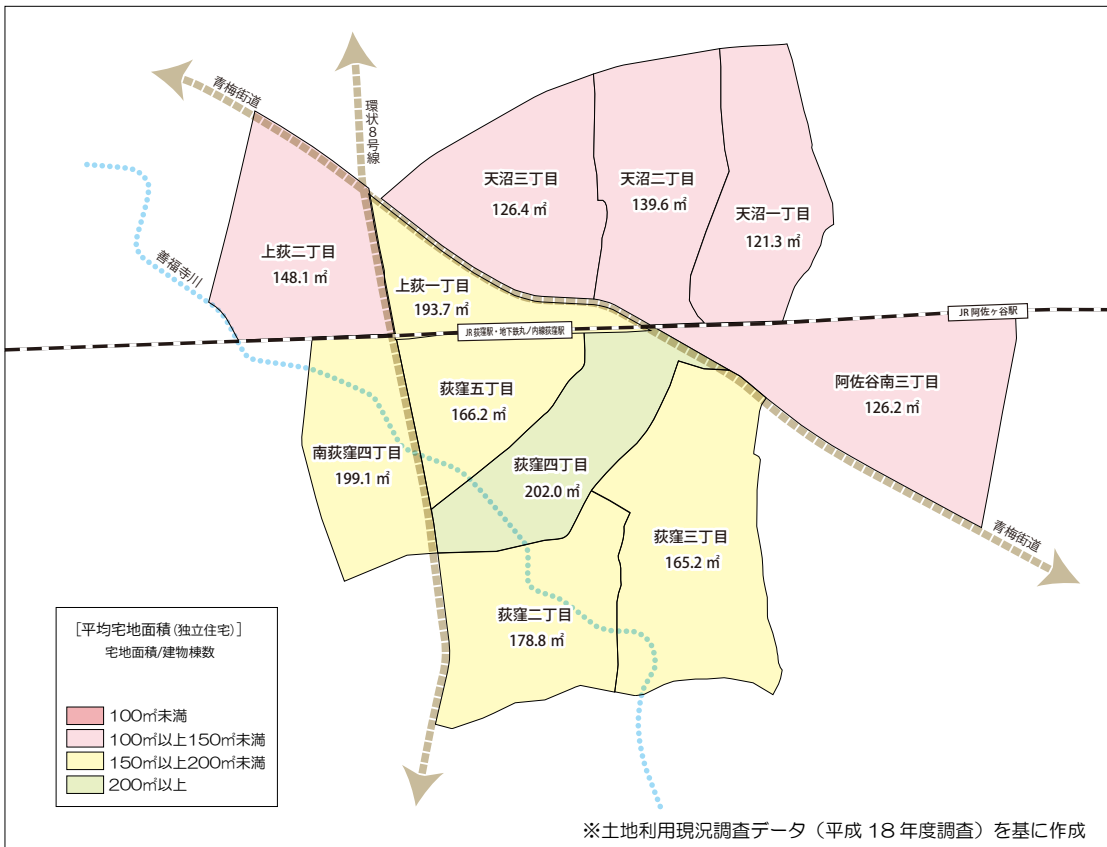
※公共公益施設（官公庁施設、教育文化施設、厚生医療施設、供給処理施設）を除く

※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

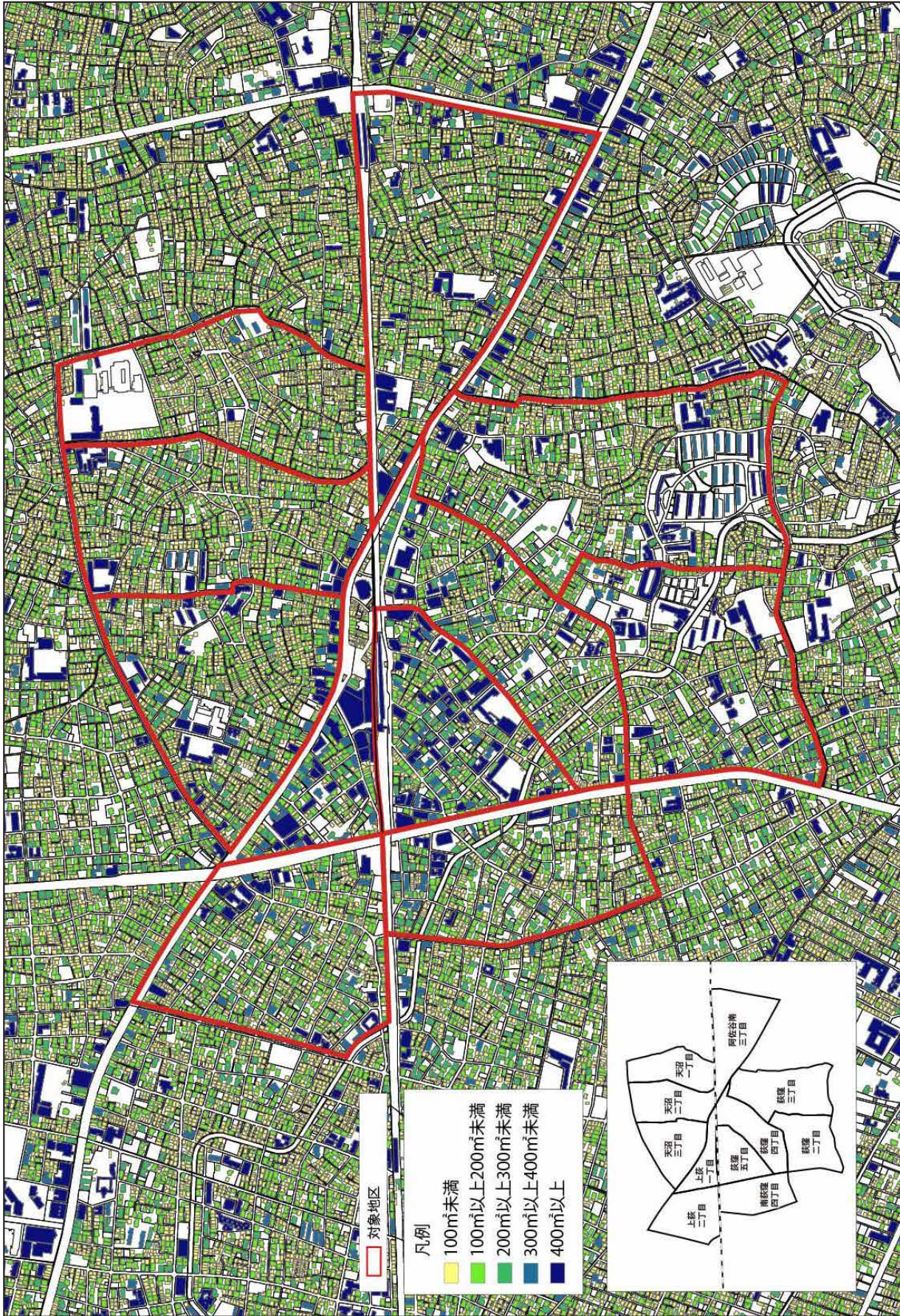
【平均宅地面積（公共用地を除く）】



【独立住宅の宅地面積】

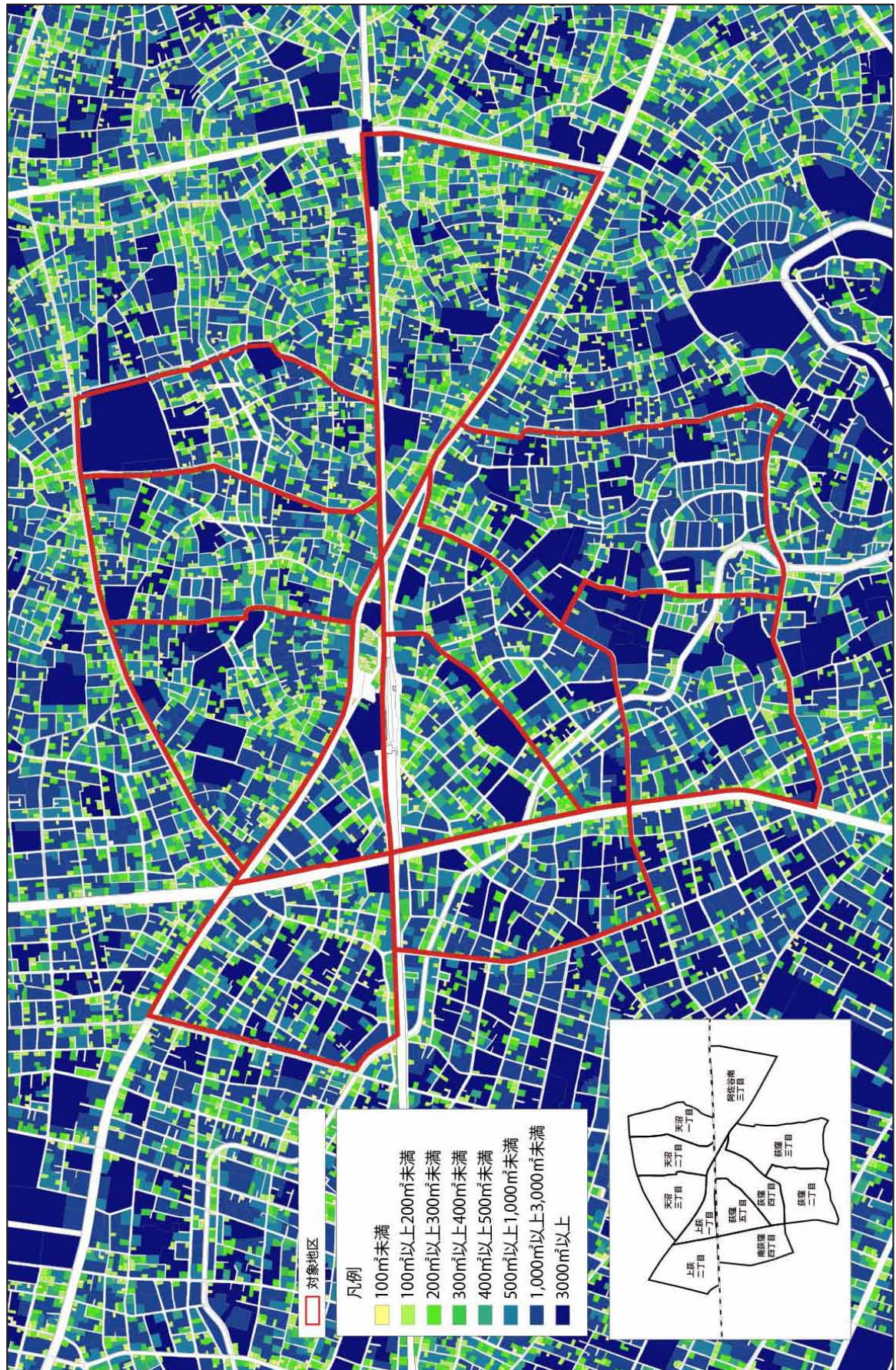


【建築面積】



※土地利用現況調査データ（平成 18 年度調査）を基に作成

【宅地面積】



※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

④ 階数

- ・ 400～600%の容積率が指定されている（一部を除く）上萩一丁目と萩窪五丁目は、中高層化率が30%を超えており、その他の地区はほとんどが2階建て以下の低層建物となっている。
- ・ 階数別の建物の分布状況を見ると、16階建て以上の超高層ビルが駅南北に3棟あり、最も高いビルは駅北口のインテグラルタワー（地上18階、77.61m）となっている。
- ・ 駅南口には面的に4～7階建ての中層建物が分布している他、青梅街道及び環状8号線沿道には8～15階建ての高層建物を含む中層以上の建物が林立している。
- ・ 青梅街道及び環状8号線沿道等において、中高層建物に隣接して2階建て以下の低層住宅が立地している様子がみられる。

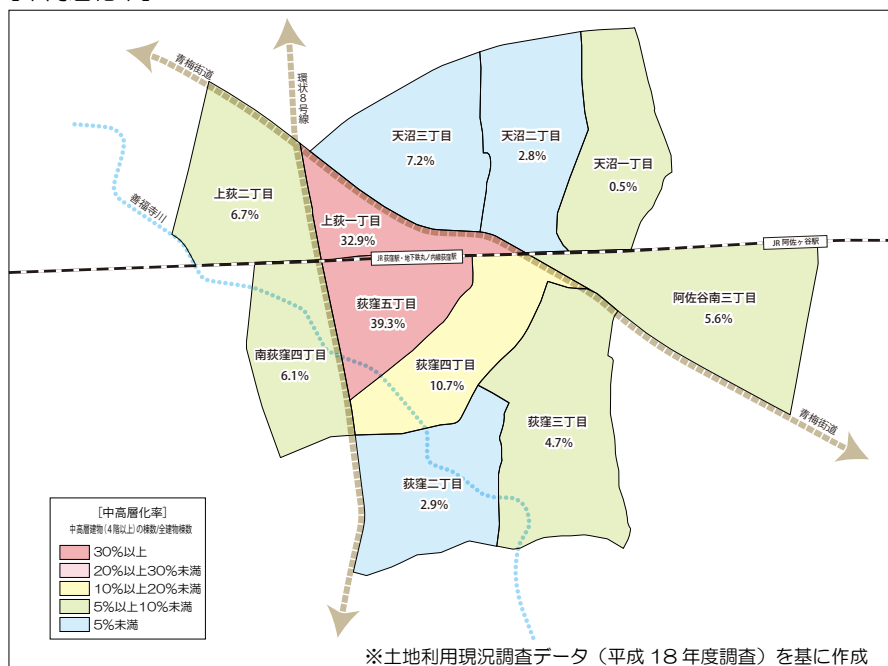
【町丁目別、建物階数、中高層化率】

	1～2階 《低層》	3～5階 《中層》	6～15階 《高層》	16階～ 《超高層》	4階以上	建物棟数 (棟)	中高層化率
上萩一丁目	145	109	40	1	97	295	32.9%
上萩二丁目	812	148	25	0	66	985	6.7%
天沼一丁目	953	156	0	0	5	1,109	0.5%
天沼二丁目	1010	199	4	0	34	1,213	2.8%
天沼三丁目	883	379	19	0	92	1,281	7.2%
萩窪二丁目	669	108	4	0	23	781	2.9%
萩窪三丁目	1025	102	15	0	54	1,142	4.7%
萩窪四丁目	568	101	39	1	76	709	10.7%
萩窪五丁目	164	217	61	1	174	443	39.3%
南萩窪四丁目	536	95	9	0	39	640	6.1%
阿佐谷南三丁目	1313	331	26	0	94	1,670	5.6%
合計	8074	1945	242	3	754	10,268	7.3%

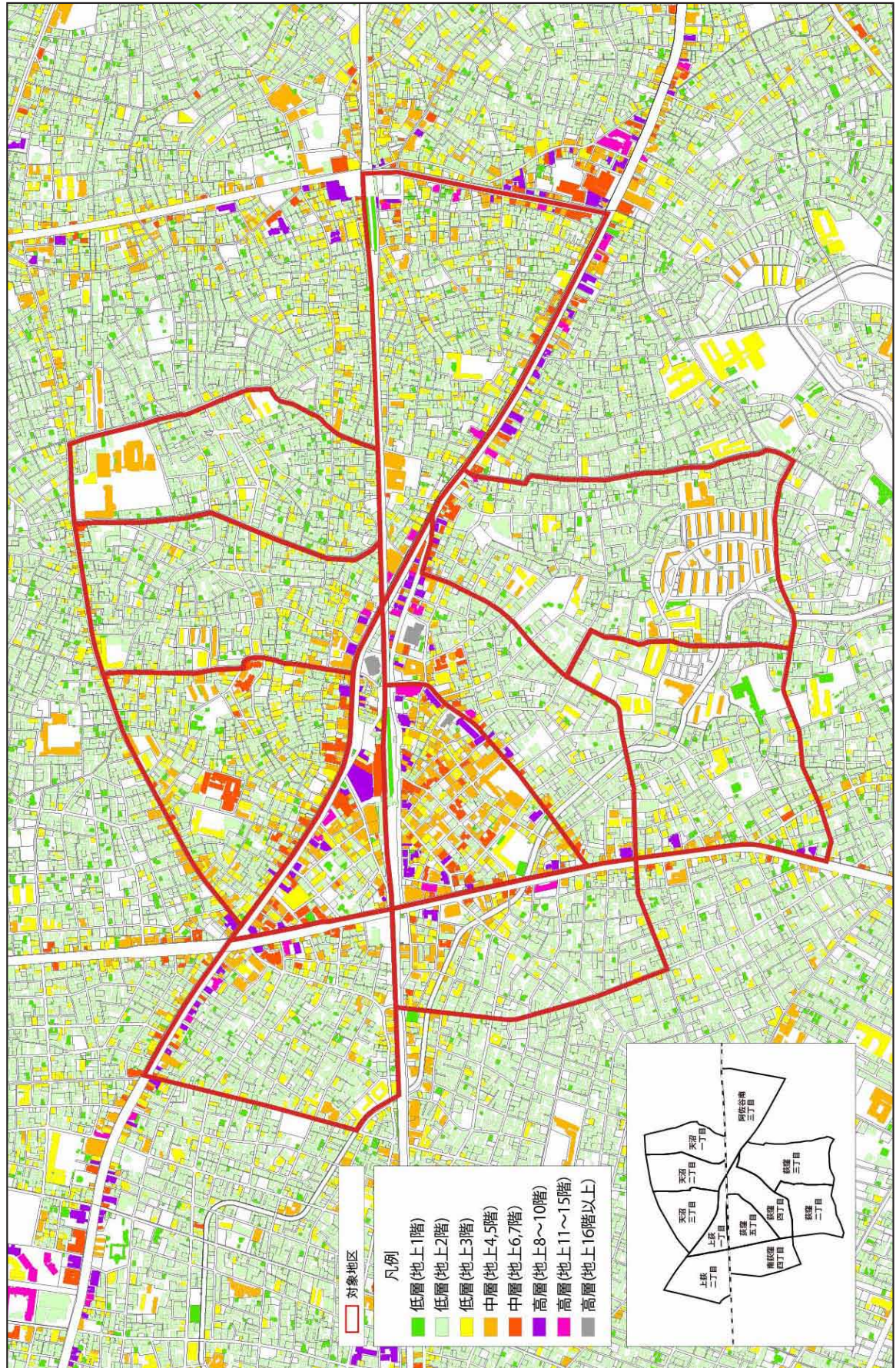
※中高層化率＝4階以上の棟数 / 全棟数

※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

【中高層化率】



【建物階数】



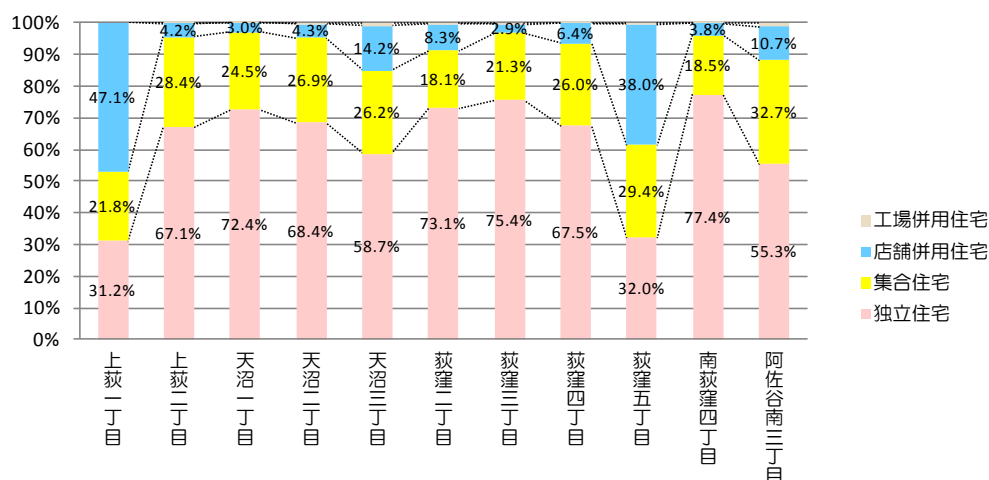
※土地利用現況調査データ（平成 18 年度調査）を基に作成

(3) 居住環境

① 住宅の立地状況

- ・ 全体的に独立住宅が多く、駅周辺の上荻一丁目と荻窪五丁目を除く地区では、約9割が住宅で、店舗等の混在はみられない。上荻一丁目と荻窪五丁目は店舗併用住宅が多くなっている。

【住宅の種類別の棟数】



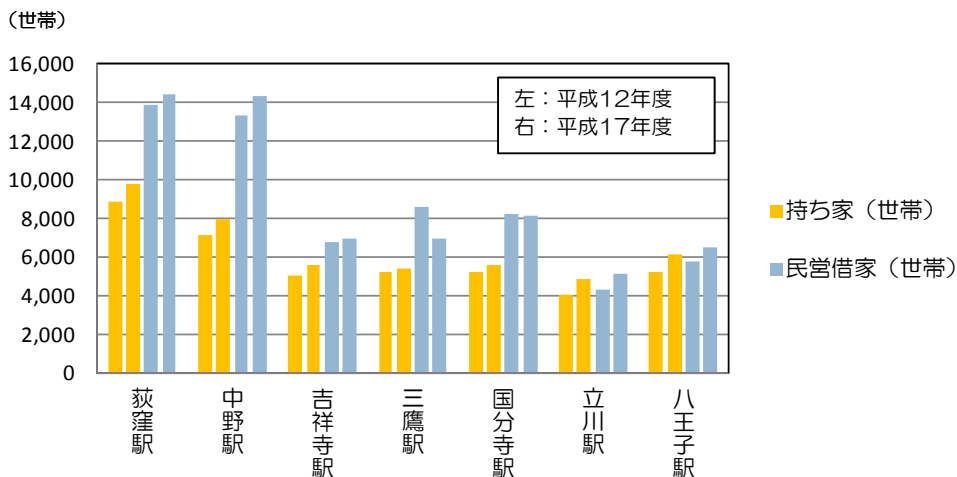
		独立住宅	集合住宅	店舗併用住宅	工場併用住宅	合計
上荻一丁目	棟数	53	37	80	0	170
	構成比	31.2%	21.8%	47.1%	0.0%	100%
上荻二丁目	棟数	633	268	40	3	944
	構成比	67.1%	28.4%	4.2%	0.3%	100%
天沼一丁目	棟数	785	266	32	1	1084
	構成比	72.4%	24.5%	3.0%	0.1%	100%
天沼二丁目	棟数	806	317	51	5	1179
	構成比	68.4%	26.9%	4.3%	0.4%	100%
天沼三丁目	棟数	709	316	171	12	1208
	構成比	58.7%	26.2%	14.2%	1.0%	100%
荻窪二丁目	棟数	546	135	62	4	747
	構成比	73.1%	18.1%	8.3%	0.5%	100%
荻窪三丁目	棟数	844	238	33	4	1119
	構成比	75.4%	21.3%	2.9%	0.4%	100%
荻窪四丁目	棟数	452	174	43	1	670
	構成比	67.5%	26.0%	6.4%	0.1%	100%
荻窪五丁目	棟数	108	99	128	2	337
	構成比	32.0%	29.4%	38.0%	0.6%	100%
南荻窪四丁目	棟数	472	113	23	2	610
	構成比	77.4%	18.5%	3.8%	0.3%	100%
阿佐谷南三丁目	棟数	862	510	166	20	1558
	構成比	55.3%	32.7%	10.7%	1.3%	100%
合計	棟数	6270	2473	829	54	9626
	構成比	65.1%	25.7%	8.6%	0.6%	100%

※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

② 住宅の所有状況

- ・荻窪駅周辺（対象地区）は、中野駅周辺と同様に民営借家の世帯数が持ち家の世帯数を上回っている。吉祥寺駅周辺から西側の駅では持ち屋の割合が高くなる傾向が見られる。

【住宅の所有状況】※ JR 中央線沿線他都市との比較

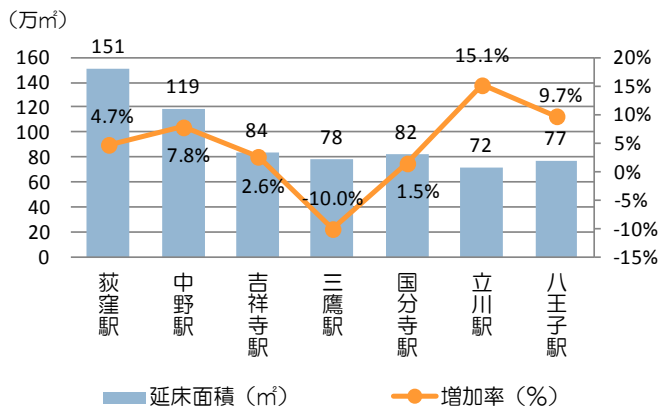


※数値は各駅を中心とした 500 m 圏内にある町丁目の合計値
 ※平成 12 年、平成 17 年国勢調査より作成

③ 住宅の供給状況

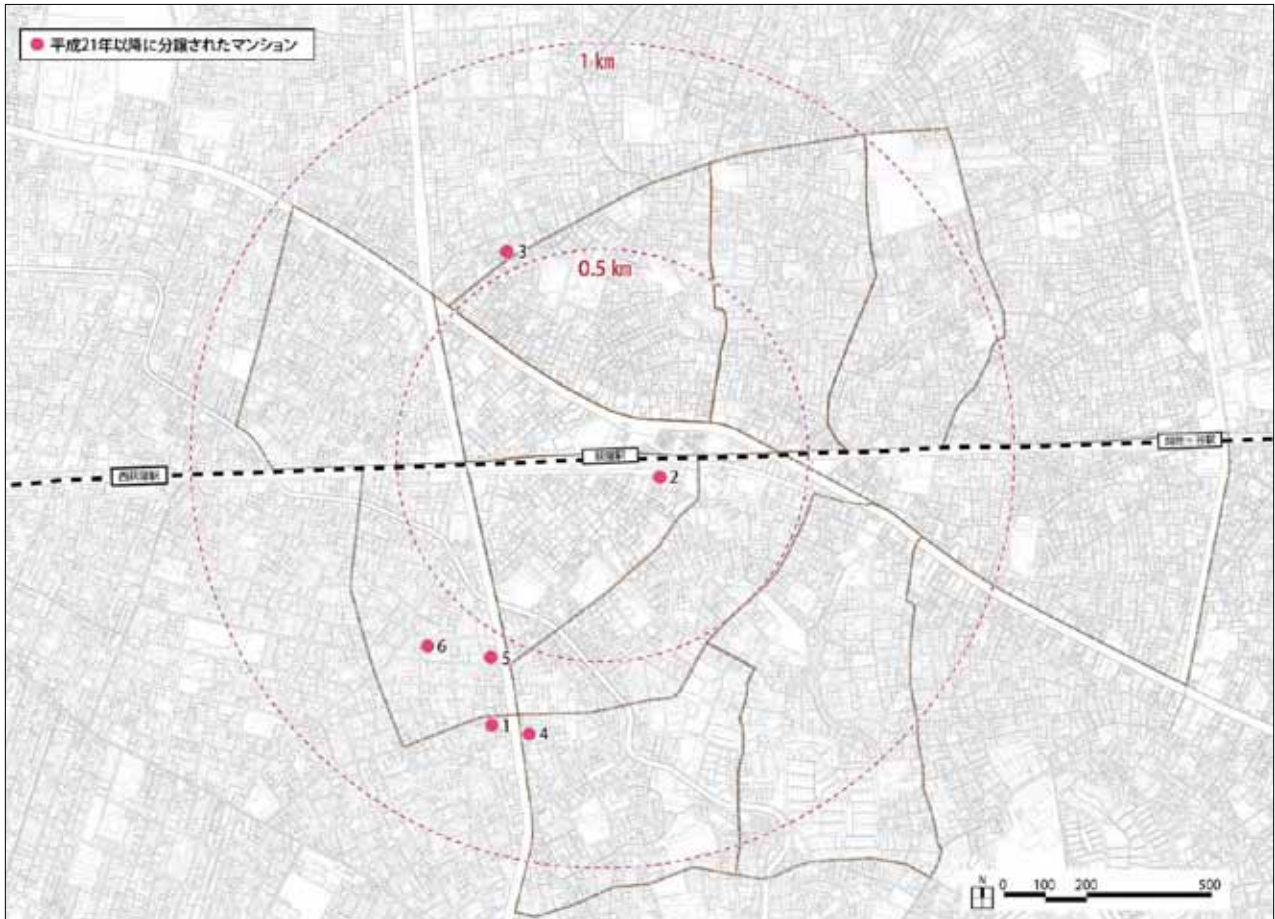
- ・荻窪駅から 1 km 圏内では、ここ 3 年で分譲されたマンションは 6 件のみとなっているが、分譲マンションの供給は年々増加しており、荻窪駅周辺の住宅の延床面積も増加傾向にある。
- ・荻窪駅から 3 km 圏内をみると、特に西荻窪駅周辺において分譲マンションの増加がみられる。
- ・荻窪駅から 1 km 圏内の分譲マンションの価格は、概ね坪単価 230 ～ 270 万円程度となっており、荻窪駅南口に建設中のマンションは最高値の坪単価 320 万円となっている。
- ・価格は都心部に近いほど高く、阿佐谷、荻窪、西荻窪の順に高くなっている。

【住宅の延床面積】※ JR 中央線沿線他都市との比較



※数値は各駅を中心とした 500 m 圏内にある町丁目の合計値
 ※平成 17 年国勢調査より作成、増加率は平成 12 年調査に対する平成 17 年調査の割合

【狹窪駅周辺の新築マンションの分譲状況】



【狹窪駅周辺より3km圏内の新築マンション（平成 21 年以降）の分譲状況】

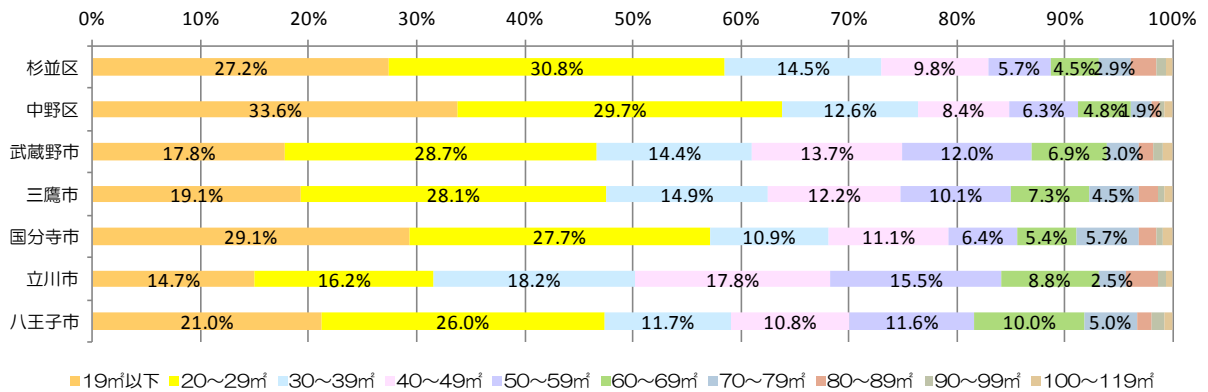
	販売開始年	物件名	図中番号	竣工年月	総戸数	階数	価格帯	販売単価
狹窪駅から 1 km圏内	H 24	セイガステージ狹窪	1	H 24.9 予定	21 戸	8 階	3970～5580万円	約 240万円 / 坪
		エクセレントシティ狹窪シティスイート	2	H 24.9 予定	40 戸	12 階	2800～4300万円	約 320万円 / 坪
	H 23	クラッシィハウス狹窪	3	H 23.12	28 戸	6 階	5190～8240万円	約 300万円 / 坪
		ラ ヴォア狹窪	4	H 23.6	39 戸	8 階	4010～5920万円	約 271万円 / 坪
	H 22	エルデンシア狹窪	5	H 22.11	42 戸	8 階	4470万円～	約 238万円 / 坪
	H 21	スタジオデン狹窪Ⅱ	6	H 21.7	27 戸	4 階	—	—
狹窪駅から 2 km圏内	H 24	Brillia 西狹窪	—	H 24.11 予定	68 戸	9 階	未定	—
		シティテラス西狹窪	—	H 24.10 予定	143 戸	5 階	未定	—
		ザ・ロアハウス西狹窪	—	H 24.1 予定	12 戸	2 階	4048～4498万円	約 223万円 / 坪
		リビオレゾン南阿佐ヶ谷	—	H 24.2 予定	21 戸	10 階	3090～4730万円	約 272万円 / 坪
	H 23	パークハウス阿佐ヶ谷レジデンス	—	H 23.2	121 戸	16 階	4000～10660万円	約 375万円 / 坪
	H 21	シアンズテラス西狹窪	—	H 21.9	23 戸	3 階	—	—
ブラウド阿佐ヶ谷		—	H 21.7	58 戸	13 階	12800万円～	約 416万円 / 坪	
狹窪駅から 3 km圏内	H 24	ブラウド杉並高円寺	—	H 25.1 予定	39 戸	14 階	未定	—
		グローバル ザ・シーズン 鷺ノ宮パークス	—	H 24.3 予定	38 戸	5 階	3430～4880万円	約 237万円 / 坪
	H 23	ブラウド富士見ヶ丘コートテラス	—	H 24.5 予定	70 戸	3 階	4840～6790万円	約 246万円 / 坪
	H 21	ローレルコート中杉通り	—	H 21.12	39 戸	7 階	5290～6700万円	約 263万円 / 坪

※ HOME'S 新築分譲マンション HP 等より作成

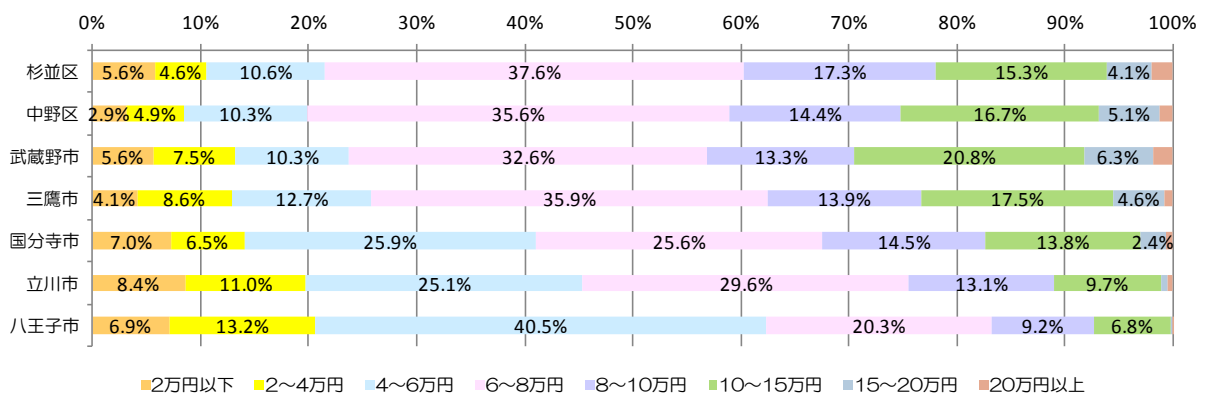
④ 民間賃貸住宅の家賃相場及び規模

- ・居室あたり延べ面積は 30 ㎡未満が半数以上を占め、単身者向けの住宅が多い状況となっており、1 か月当たりの家賃は 6 ～ 8 万円代が最も多くなっている。
- ・一畳あたりの家賃は、8 千円以上が最も多く、中央線沿線の中でも高い賃料水準となっている。

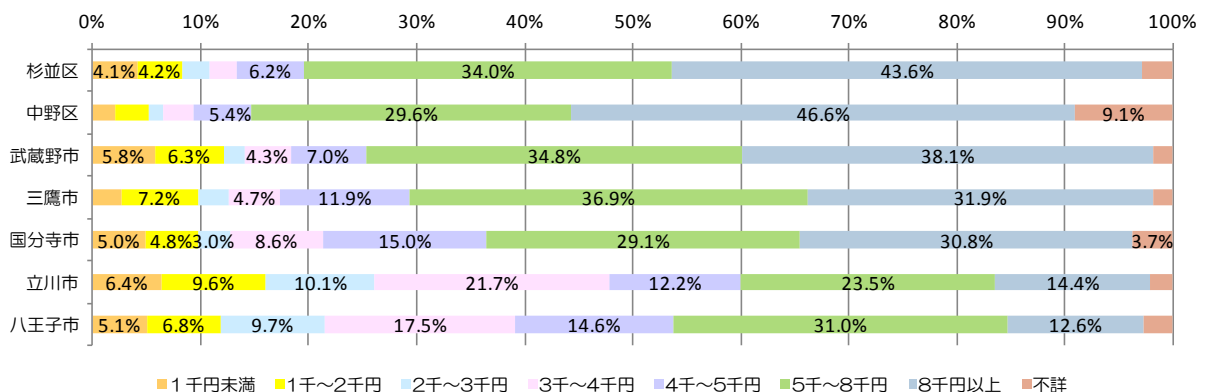
【居室あたりの延べ面積】※ JR 中央線沿線他都市との比較



【1 か月当たりの家賃】※ JR 中央線沿線他都市との比較



【1 畳あたり家賃】※ JR 中央線沿線他都市との比較



※平成 20 年 住宅・土地統計調査より作成

⑤ 公共公益施設の分布状況

- ・ 荻窪駅近辺には、金融機関、託児施設、病院、区役所の出張所等が集積しており、生活する上で利便性の高い場所となっている。
- ・ また、区民活動の核となる施設（あんさんぶる荻窪）や主要な文化施設（中央図書館や杉並公会堂等）が立地しており、区民の交流及び文化の中心地となっている。
- ・ 一方、図書館や公園、運動施設は駅から離れた場所に分散しており、ややアクセスが不便な面もみられる。

【学校数】-JR中央線沿線他都市との比較-

	小学校数	中学校数	高等学校数	小学校数 (可住地面積 100k㎡当たり)	中学校数 (可住地面積 100k㎡当たり)	高等学校数 (可住地面積 100k㎡当たり)
杉並区	46	32	20	135.2	94.1	58.8
中野区	27	17	13	173.2	109.0	83.4
武蔵野市	15	11	6	139.8	102.5	55.9
三鷹市	16	9	4	97.2	54.6	24.3
国分寺市	11	6	2	96.5	52.6	17.5
立川市	20	9	5	82.8	37.2	20.7
八王子市	70	46	21	69.7	45.8	20.9

※ 平成 21 年度学校基本調査（文部科学省）より作成

【図書館数】-JR中央線沿線他都市との比較-

	図書館数	図書館数 (人口 100 万人 当たり)
杉並区	13	20.8
中野区	9	29.0
武蔵野市	3	21.8
三鷹市	5	28.2
国分寺市	6	42.5
立川市	10	57.9
八王子市	4	7.1

※ 平成 20 年度社会教育調査（文部科学省）より作成

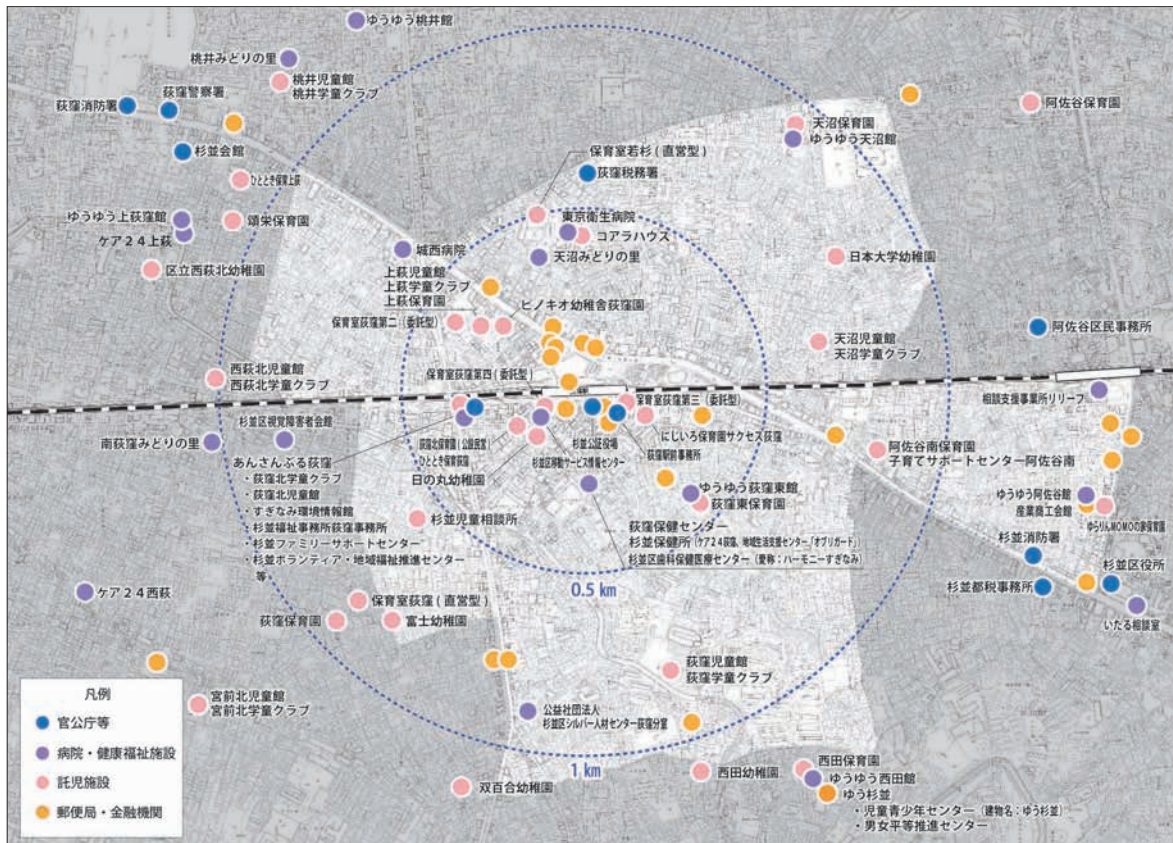
【病院数】-JR中央線沿線他都市との比較-

	一般病院数	一般診療所数	一般病院数		一般診療所数		介護老人福祉施設 (65 歳以上人口 10 万人当たり)
			人口 10 万人 当たり	可住地面積 100k㎡当たり	人口 10 万人 当たり	可住地面積 100k㎡当たり	
杉並区	17	529	3.4	50.0	101.2	1,555.0	9.2
中野区	11	330	3.2	70.6	105.9	2,116.7	12.4
武蔵野市	10	193	7.3	93.2	139.6	1,798.7	16.5
三鷹市	8	135	5.1	48.6	69.5	819.7	9.4
国分寺市	3	111	2.6	26.3	88.4	973.7	14.7
立川市	7	150	4.1	29.0	80.5	620.6	19.4
八王子市	36	376	6.2	35.8	66.1	374.2	21.8

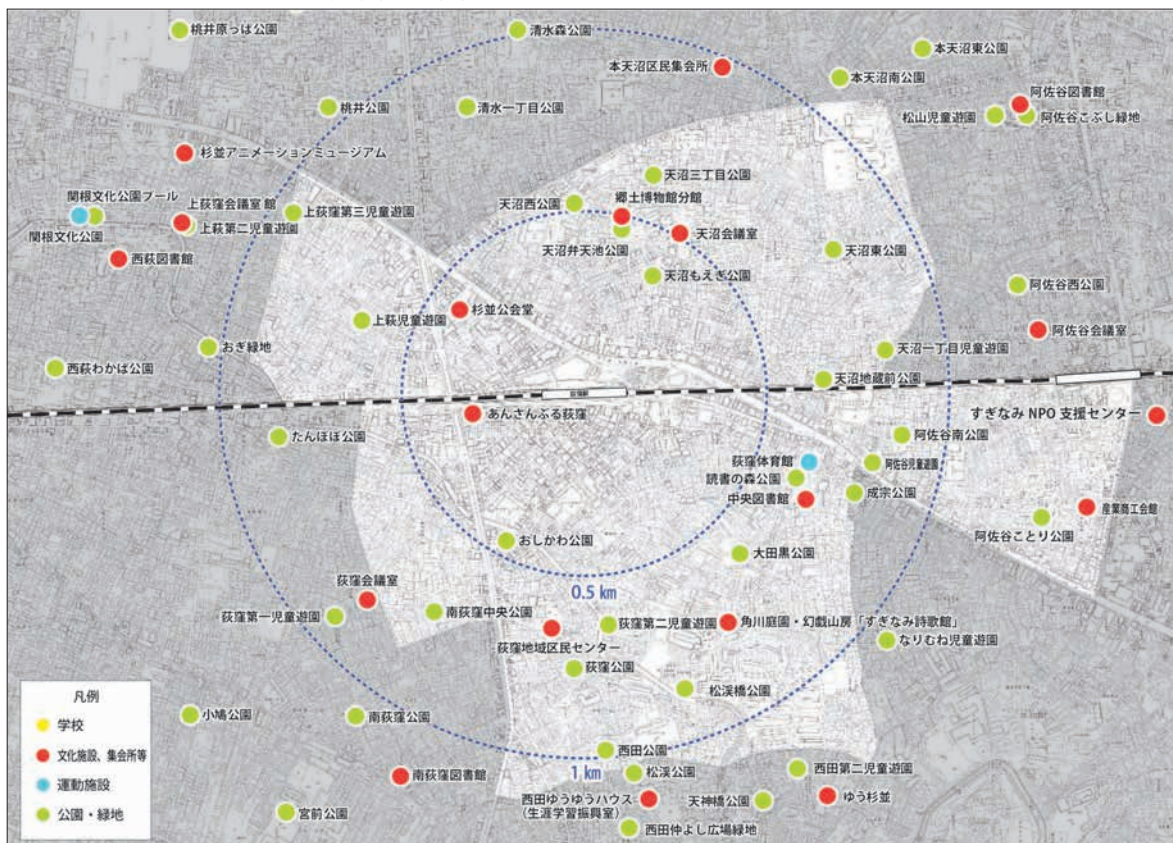
※ 平成 20 年度介護サービス施設・事業所調査、平成 20 年度医療施設調査（厚生労働省）より作成

【狹窪駅周辺の公共公益施設の立地状況】

◇官公庁、病院、託児施設、金融機関の分布



◇文化施設、運動施設、公園、学校の分布

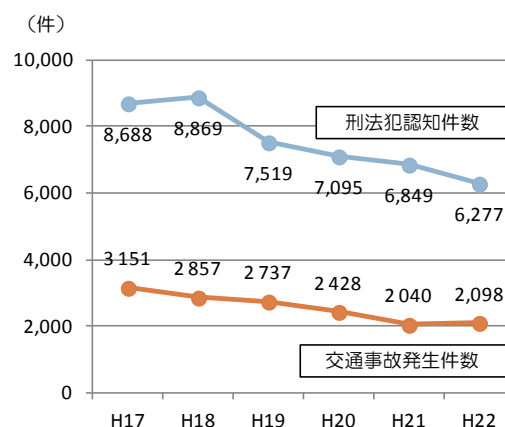
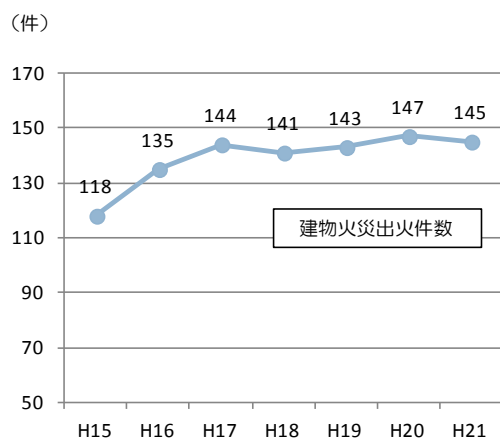


※杉並区ホームページの施設案内、住宅地図等に基づき作成

⑥ 安全安心

- ・ 杉並区全体では、建物火災発生件数が増加傾向にあるが、交通事故発生件数及び刑法犯認知件数は、減少傾向がみられる。

【杉並区の火災、交通事故・犯罪発生件数の推移】



【火災、交通事故、犯罪発生件数】-JR 中央線沿線他都市との比較-

	建物火災出火件数 (平成 20 年)	交通事故発生件数 (平成 21 年)	刑法犯認知件数 (平成 22 年)	建物火災出火件数 (人口千人当たり) (平成 20 年)	交通事故発生件数 (人口千人当たり) (平成 21 年)	刑法犯認知件数 (人口千人当たり) (平成 22 年)
杉並区	147	2,098	6,277	0.3	4.0	11.9
中野区	79	891	4,600	0.3	2.9	14.8
武蔵野市	43	522	3,104	0.3	3.8	22.6
三鷹市	43	571	1,763	0.2	3.2	10.0
国分寺市	33	387	1,540	0.3	3.3	13.1
立川市	48	909	3,996	0.3	5.3	23.2
八王子市	126	2,660	8,341	0.2	4.7	14.9

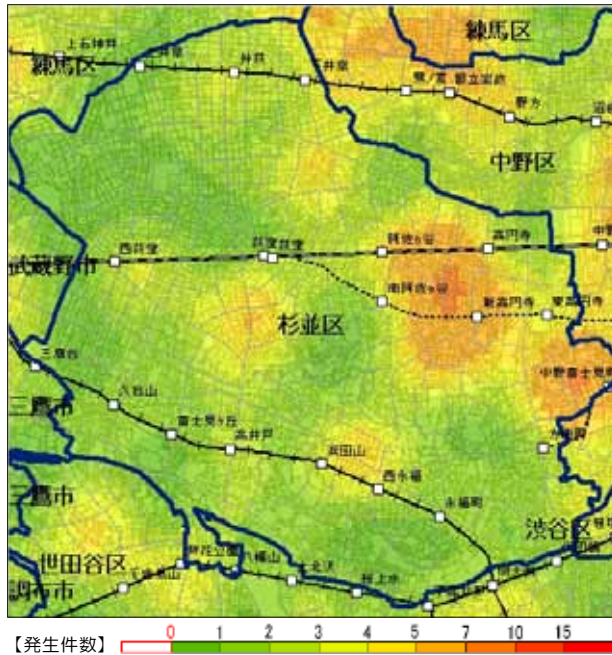
※火災年報（消防庁防災課防災情報室）、交通統計（警察庁交通局交通企画課）、犯罪統計書（警察庁刑事局刑事企画課）より作成

※交通事故：車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）

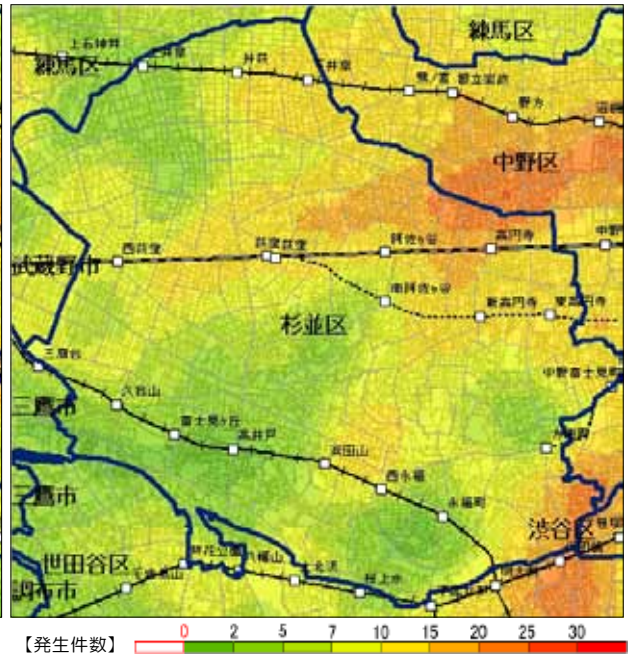
【犯罪の発生場所】

- ・「ひったくり」「住居対象侵入盗」は、杉並区の東部の住宅街における発生件数が多く、荻窪駅周辺では比較的少ないが、「ひったくり」は荻窪駅南部の環状8号線付近で多少多くなっている。
- ・「事務所等侵入盗」「粗暴犯」は、荻窪駅周辺の発生件数が多くなっており、特に「事務所等侵入盗」は杉並区内で突出して多い。

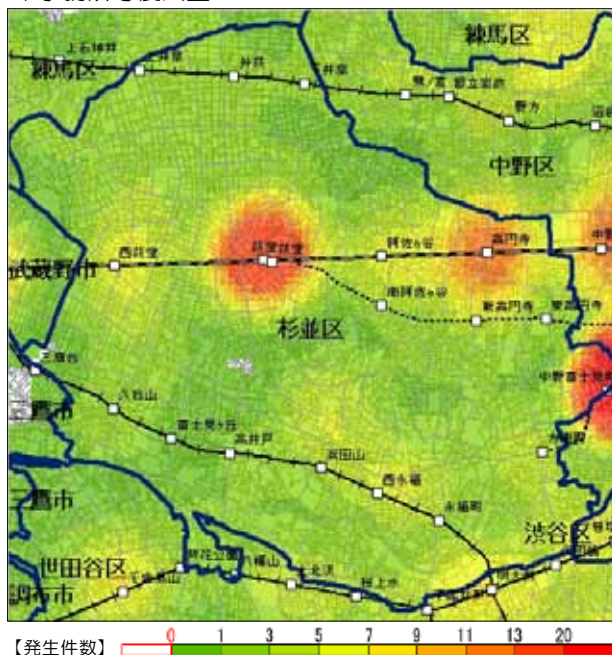
◇ひったくり



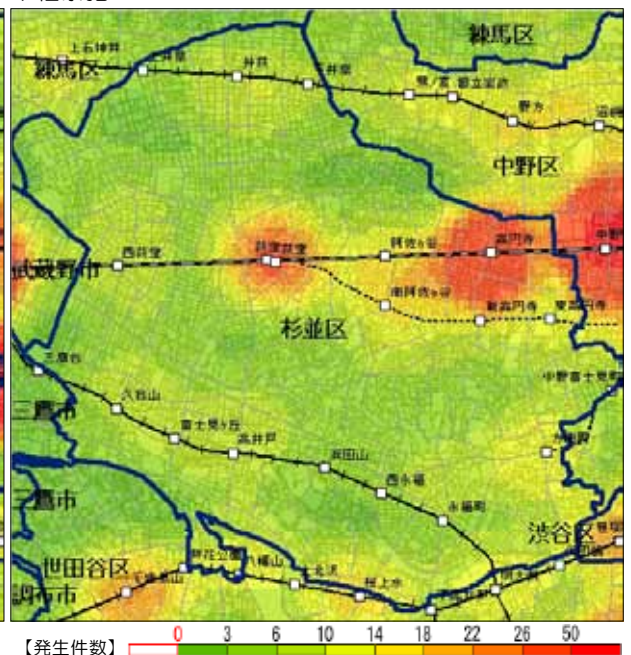
◇住居対象侵入盗



◇事務所等侵入盗



◇粗暴犯

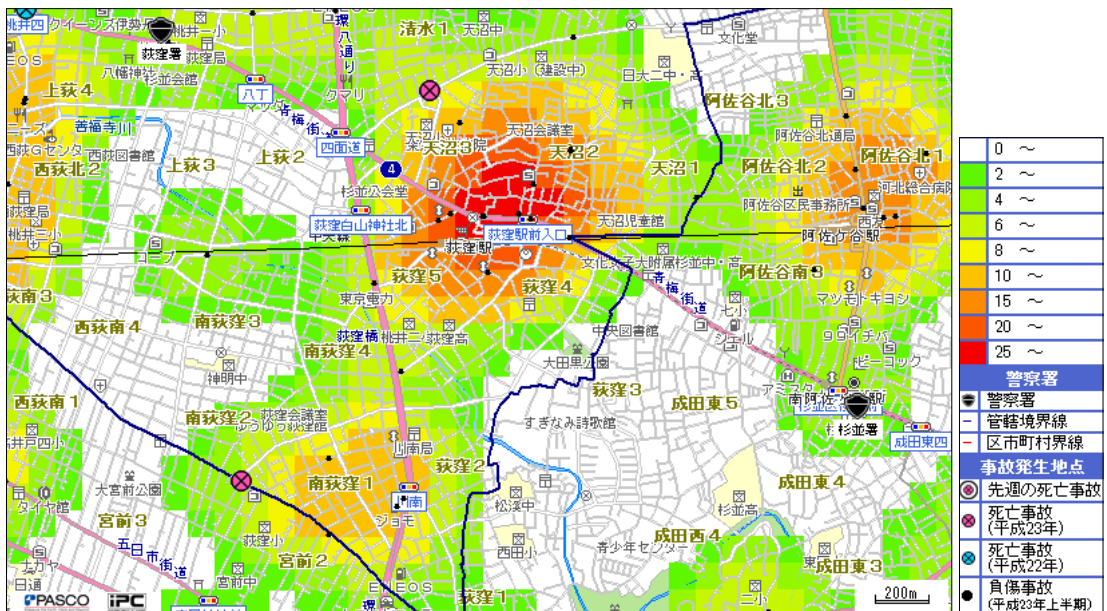


※出典「犯罪発生マップ(警視庁)」

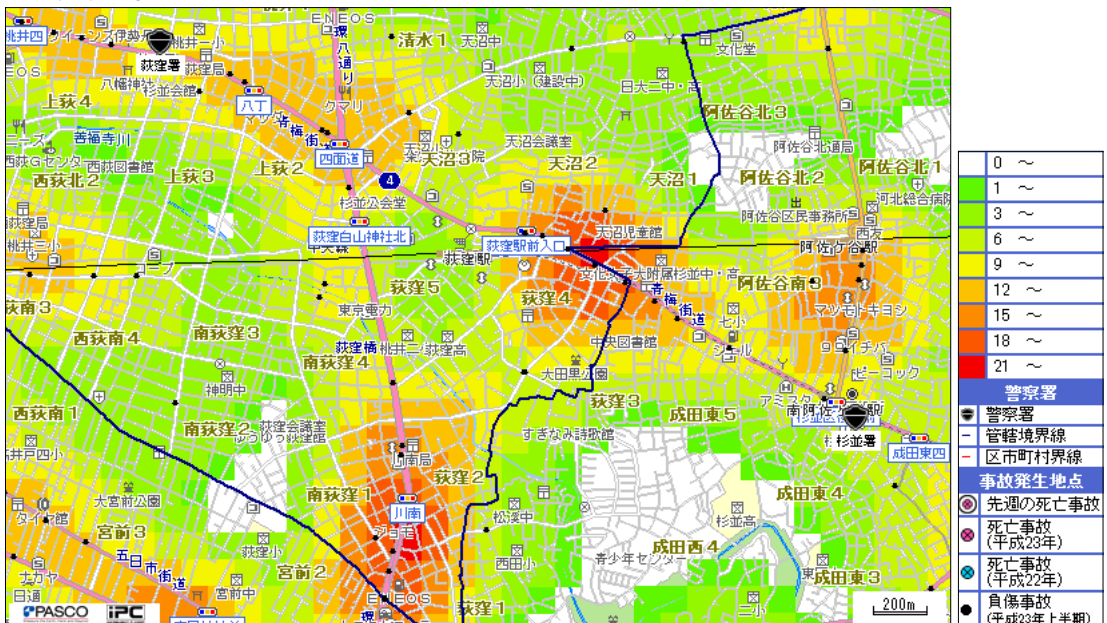
【交通事故の発生場所】

- ・「歩行者」の交通事故は、荻窪駅北口の青梅街道沿道や天沼地区の狭小な幅員の道路における発生件数が多く、「二輪事故」の交通事故は、青梅街道とJR中央線の交差部分において発生件数が多くなっている。
- ・「高齢者」と「自転車」の交通事故は、荻窪駅北口を中心に発生しており、特に青梅街道と環状8号線で挟まれた場所で多くなっている。
- ・「事業用車」の交通事故は、荻窪駅南北の広範囲にわたって発生しており、特に青梅街道や環状8号線と地区内の道路との交差点部分多く発生している。

◇歩行者の事故

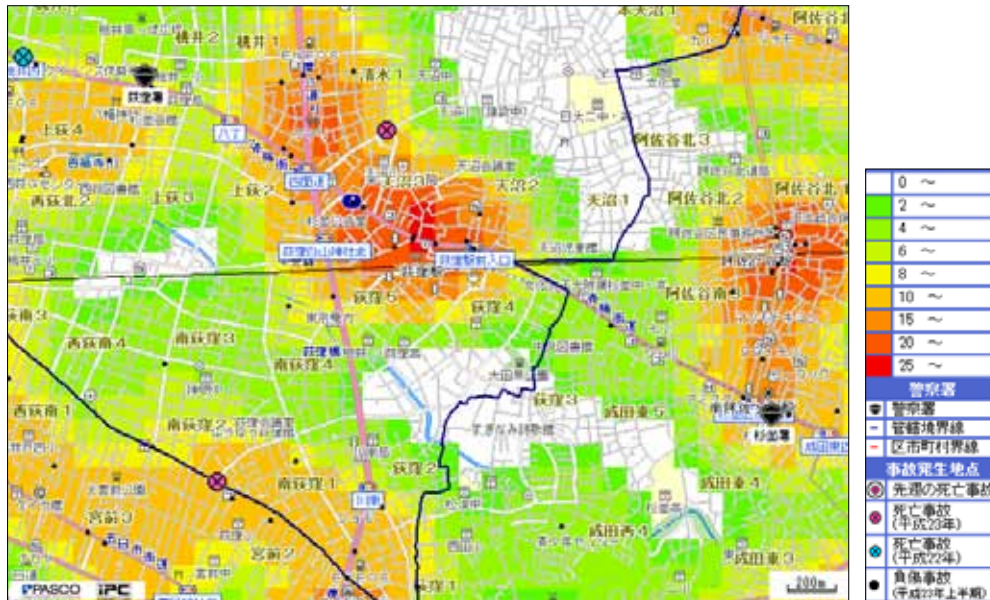


◇二輪車の事故

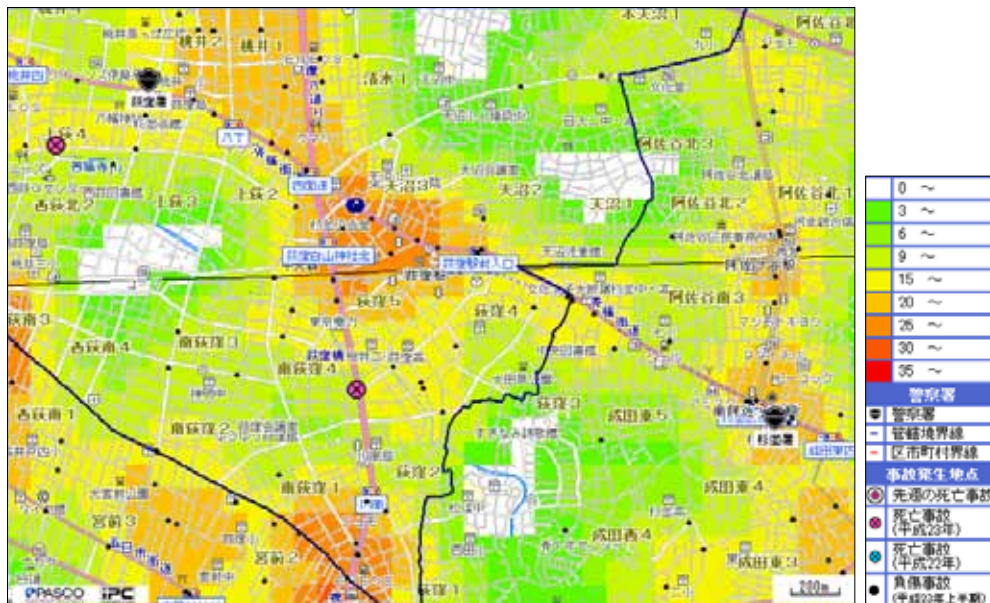


※出典「交通事故マップ（警視庁）」

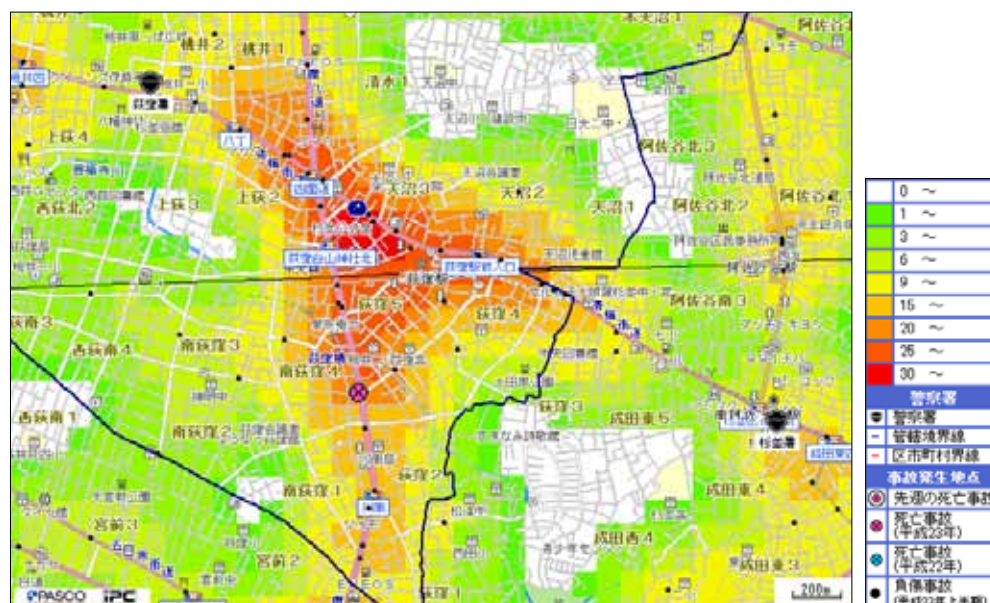
◇高齢者の事故



◇自転車の事故



◇事業用車の事故



※出典「交通事故マップ（警視庁）」